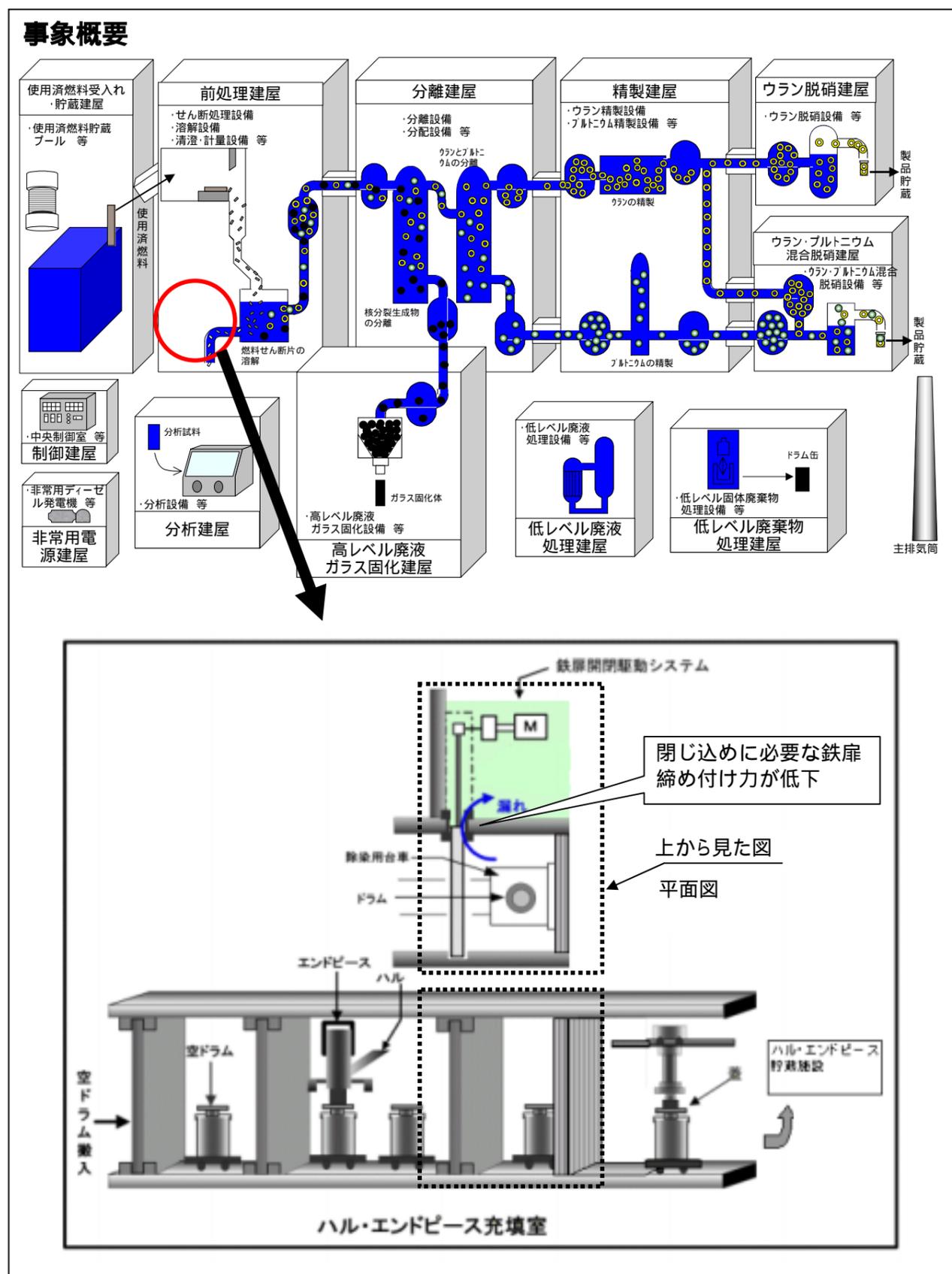


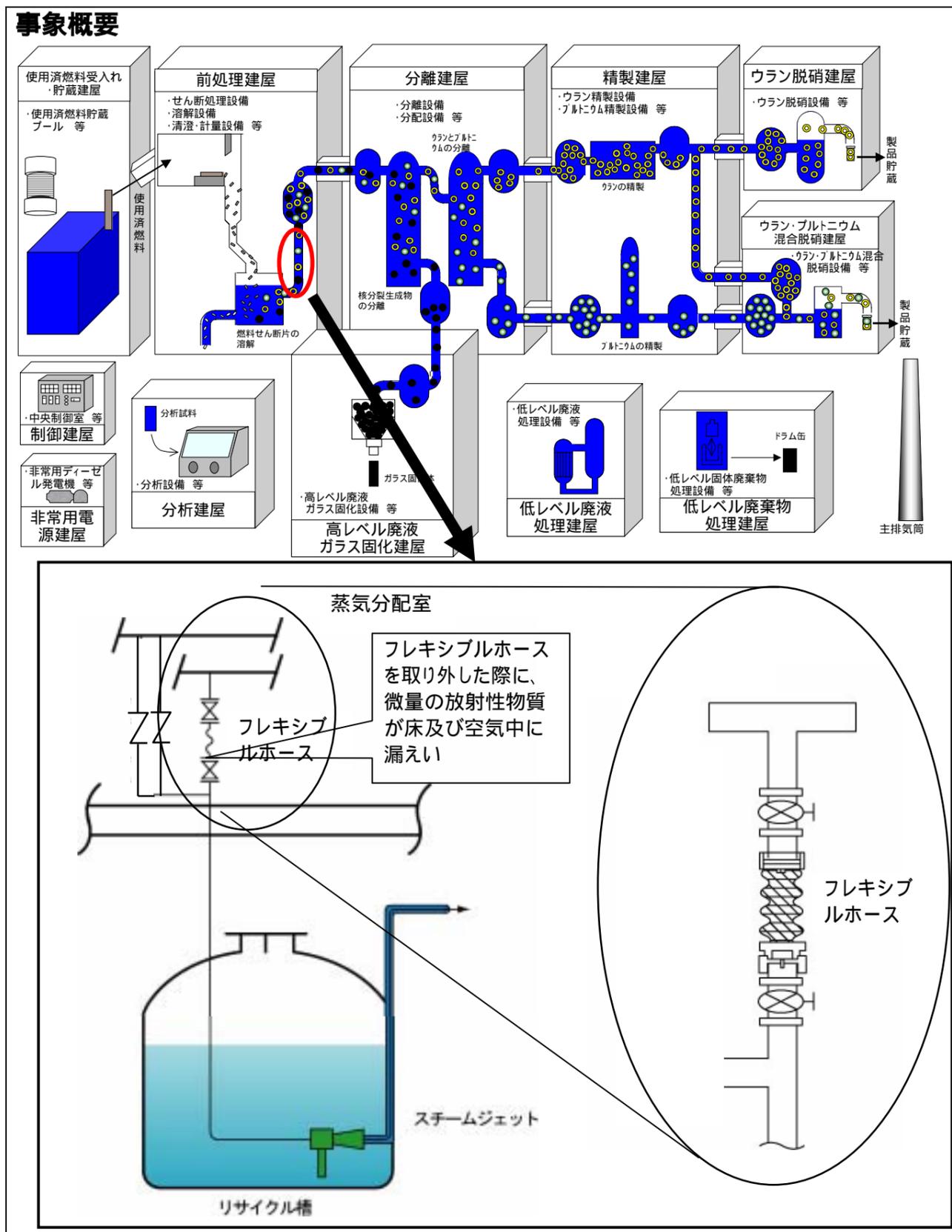
## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.6-1)

<b>件名</b>	ドラム除染室鉄扉開閉用駆動システムにおける汚染						
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器</p> <p>(2) 発生の状況</p> <p>(3) 概要</p>						
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響</p> <p>(2) 安全性への影響</p> <p>(3) 作業員への影響</p> <p>(4) 他工程への影響</p>						
<b>対応の概要</b>	<p>(1) ドラム搬送工程のドラム除染室、鉄扉と扉枠との締め付け力低下による汚染であることを確認する。</p> <p>(2) 鉄扉を作動させる駆動システム側に漏れた汚染を除去する。</p> <p>(3) 鉄扉を作動させる駆動システムを点検、検査して定常的な保守作業で復旧が可能な場合は、定められた保守手順に従って駆動システムを保守する。</p> <p>(4) 保守完了後の作動確認、汚染の有無など点検、検査して、異常がないことを確認した後、定められた操作手順に従い運転を再開する。</p>						
<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)						
<b>対応区分</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">                 国際評価尺度 (INES) のレベル                   (レベル2以下は工場外への影響はない)             </td> </tr> <tr> <td>(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table> <p>日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b></p> <p>放射線物質による汚染、被ばく等          運転制限範囲からの逸脱等          工場外への影響          多重防護の劣化</p>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル (レベル2以下は工場外への影響はない)	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル (レベル2以下は工場外への影響はない)						
(b) 運転システムを切り替えて復旧							
(c) 当該機器を停止して復旧							
(d) 当該設備を停止して復旧							
(e) 影響範囲の設備を停止							



## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.6-2)

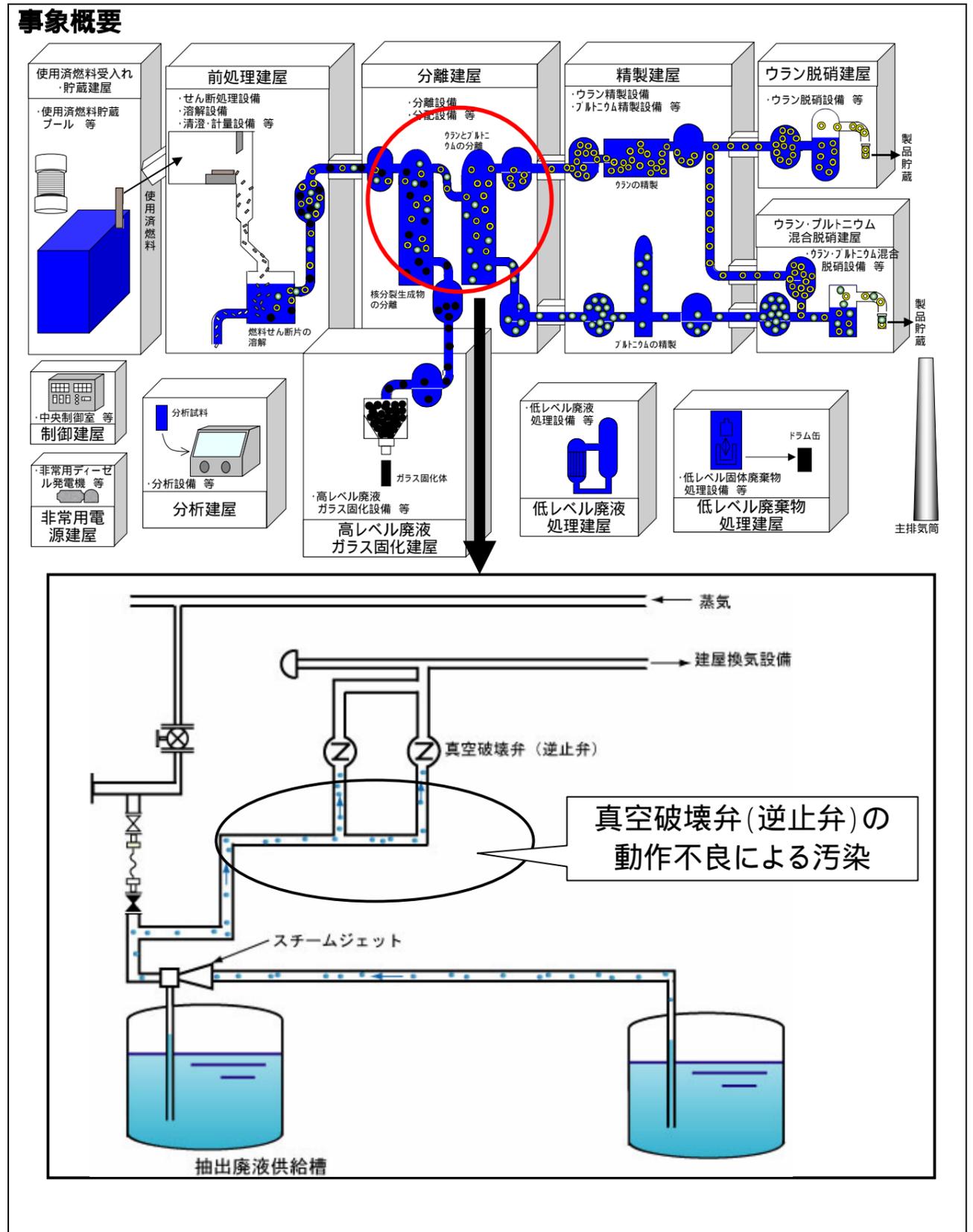
<b>件名</b>	スチームジェット蒸気供給系フレキシブルホースの取り外し作業時における汚染																																										
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 前処理建屋: 蒸気配管フレキシブルホース</p> <p>(2) 発生の状況 運転中</p> <p>(3) 概要 清澄・計量設備のリサイクル槽の溶液移送用スチームジェットを作動した後、イエロー区域に設置されている蒸気供給系のフレキシブルホースを取り外した際に、微量の放射性物質が床及び空気中に漏えい</p> <p>*他の建屋も含め同種の作業においても、同様な事象の発生が予想される。</p>																																										
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 前処理建屋塔槽類廃ガス処理設備が稼働しているリサイクル槽及び前処理建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、また、サーベイメータ等で汚染検出時には除染を行うので、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 作業区域内での汚染であるため、サーベイメータ等で汚染を検知し、定められた手順で除染を行うため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 作業員については異常被ばくのないこと、身体汚染のないことを確認し、万一身体汚染等が認められた場合は、直ちに汚染を除去することによって作業員への安全を確保するため、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 予備のスチームジェットに切り替えて運転を続行するため、他工程への影響は生じない。ただし、汚染の除去を行うのに時間を要する場合は、当該スチームジェット蒸気供給配管につながる設備の運転に影響が生じる。</p>																																										
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 汚染区域を設定し、一時的に人の立ち入りを制限する。</p> <p>(2) スチームジェット蒸気供給系配管内の汚染が原因で汚染が生じたことを確認する。</p> <p>(3) 予備のスチームジェットに切り替えて溶液移送を続行する。</p> <p>(4) スチームジェット蒸気供給配管及び周辺の汚染状況を確認、把握した後、復旧作業計画(手順)など確認の上、汚染除去の後、定常運転系統へ復旧させて運転を再開させる。</p>																																										
<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)																																										
<b>対応区分</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; vertical-align: top;">                 国際評価尺度 (INES) のレベル                   日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> </td> <td style="width: 70%; text-align: center;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">0以下</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td colspan="8" style="text-align: center;">← (レベル2以下は工場外への影響はない) →</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">放射状物質の外部放出</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">工場外への影響</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">放射状物質による汚染、被ばく等</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">工場内への影響</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">運転時稼働範囲からの逸脱等</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">多重防護の劣化</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	国際評価尺度 (INES) のレベル  日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">0以下</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td colspan="8" style="text-align: center;">← (レベル2以下は工場外への影響はない) →</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">放射状物質の外部放出</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">工場外への影響</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">放射状物質による汚染、被ばく等</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">工場内への影響</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">運転時稼働範囲からの逸脱等</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">多重防護の劣化</td> </tr> </table>	0以下	1	2	3	4	5	6	7	← (レベル2以下は工場外への影響はない) →								放射状物質の外部放出				工場外への影響				放射状物質による汚染、被ばく等				工場内への影響				運転時稼働範囲からの逸脱等				多重防護の劣化			
国際評価尺度 (INES) のレベル  日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">0以下</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td colspan="8" style="text-align: center;">← (レベル2以下は工場外への影響はない) →</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">放射状物質の外部放出</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">工場外への影響</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">放射状物質による汚染、被ばく等</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">工場内への影響</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">運転時稼働範囲からの逸脱等</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">多重防護の劣化</td> </tr> </table>	0以下	1	2	3	4	5	6	7	← (レベル2以下は工場外への影響はない) →								放射状物質の外部放出				工場外への影響				放射状物質による汚染、被ばく等				工場内への影響				運転時稼働範囲からの逸脱等				多重防護の劣化					
0以下	1	2	3	4	5	6	7																																				
← (レベル2以下は工場外への影響はない) →																																											
放射状物質の外部放出				工場外への影響																																							
放射状物質による汚染、被ばく等				工場内への影響																																							
運転時稼働範囲からの逸脱等				多重防護の劣化																																							



## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.6-3)

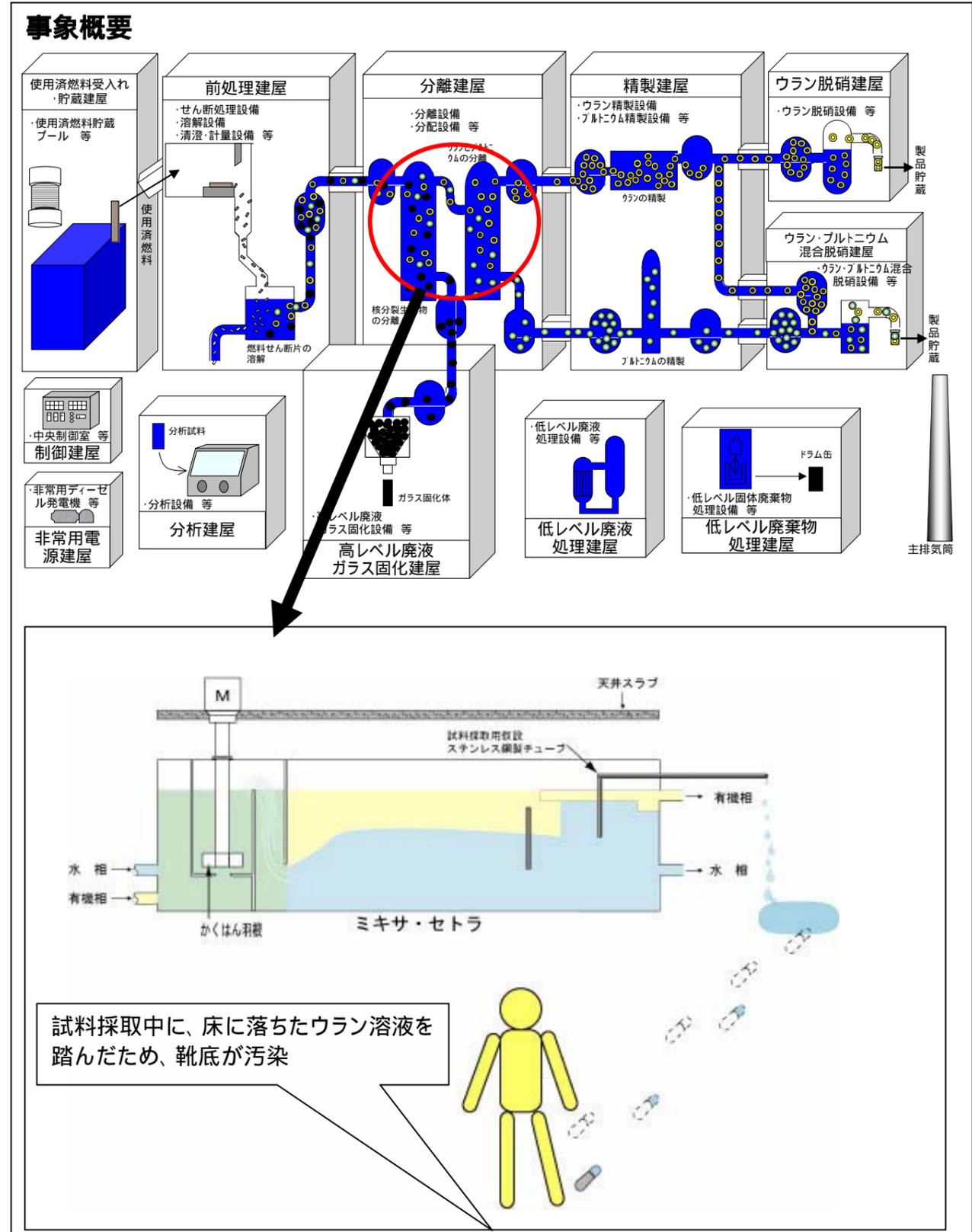
<b>件名</b>	スチームジェット真空破壊弁の点検作業時における汚染						
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 分離建屋: 蒸気配管</p> <p>(2) 発生の状況 点検中</p> <p>(3) 概要 分離設備の抽出廃液供給槽の移送用スチームジェットの真空破壊弁(逆止弁)の点検作業中、配管内の蒸気凝縮に伴う減圧現象に起因する汚染が発生していたことによる床等の汚染</p> <p>* 他の建屋も含め同種の機器においても、同様な事象の発生が予想される。</p>						
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 分離建屋塔槽類廃ガス処理設備が稼働している槽及び分離建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、また、サーベイメータ等で汚染検出時には除染を行うので、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 作業区域内での汚染であり、サーベイメータ等で汚染を検知し定められた手順で除染を行うため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 作業区域は汚染されるが、作業員への飛散はないため、作業員への影響は生じない。復旧作業にあたっては、定められた手順に従い汚染除去処置等を適切且つ速やかに行うことにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 汚染の除去を行うのに時間を要する場合は、当該作業が影響を受けるが、他工程への影響は生じない。</p>						
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 汚染区域を設定し、一時的に人の立ち入りを制限する。</p> <p>(2) スチームジェット蒸気供給系配管内の汚染が原因で汚染が生じたことを確認する。</p> <p>(3) スチームジェット蒸気供給配管及び周辺の汚染状況を確認、把握した後、復旧作業計画(手順)など確認の上、汚染除去を実施する。</p>						
<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)						
<b>対応区分</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">                 国際評価尺度 (INES) のレベル                  日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>                  放射性物質の外部放出                  放射性物質による汚染、被ばく等                  多重防護の劣化                  運転制限範囲からの逸脱等             </td> </tr> <tr> <td>(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> 放射性物質の外部放出 放射性物質による汚染、被ばく等 多重防護の劣化 運転制限範囲からの逸脱等	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> 放射性物質の外部放出 放射性物質による汚染、被ばく等 多重防護の劣化 運転制限範囲からの逸脱等						
(b) 運転システムを切り替えて復旧							
(c) 当該機器を停止して復旧							
(d) 当該設備を停止して復旧							
(e) 影響範囲の設備を停止							

本事象は当該機器停止時の保守作業中に発生したものであるため対応区分該当なし。



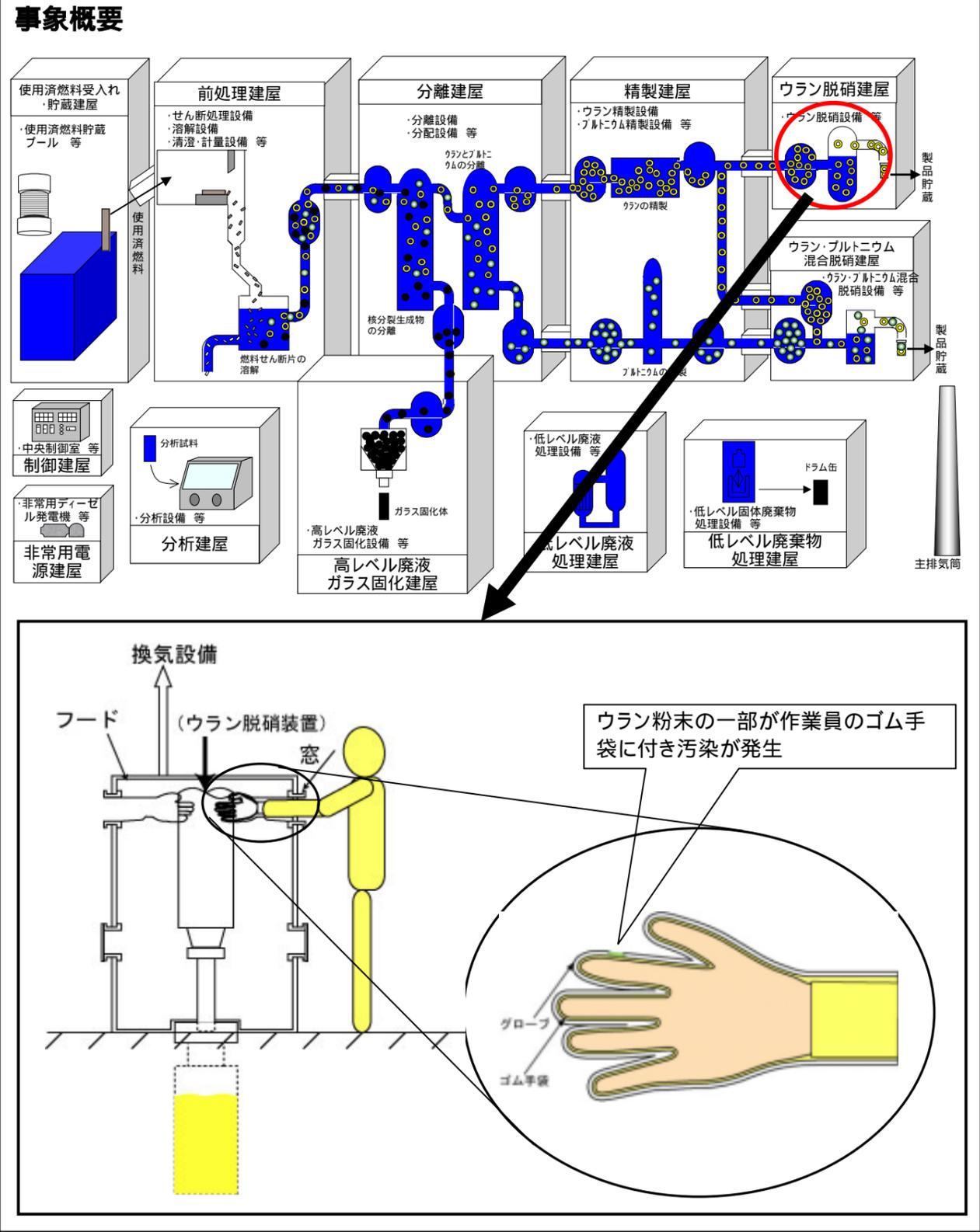
## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.6-4)

<b>件名</b>	ミキサ・セトラの仮設ラインからの試料採取時における靴底汚染								
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 分離建屋: プルトニウム洗浄器</p> <p>(2) 発生の状況 ウラン試験中</p> <p>(3) 概要 試料採取中に床に落ちたウラン溶液を踏むことによる靴底汚染(作業エリア外のサーベイメータ等で検出)</p> <p>* 他の建屋も含め同種の作業においても、同様な汚染の発生が予想される。</p>								
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 分離建屋換気設備が稼働している室内での事象であり、また、サーベイメータ等で汚染検出時には除染を行うので、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 作業区域内での汚染であり、サーベイメータ等で汚染を検知し、定められた手順で除染を行うため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 作業員については異常被ばくのないこと、身体汚染のないことを確認し、万一身体汚染等が認められた場合は、直ちに汚染を除去することによって作業員への安全を確保するため、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 汚染の除去を行うのに時間を要した場合でも、他工程への影響は生じない。</p>								
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 靴底汚染の除去を行うとともに、ウランの身体への付着及び体内への取り込みがないことを確認する。</p> <p>(2) 作業員の移動経路等の汚染範囲を特定する。</p> <p>(3) 定められた手順に従い、床に落ちたウラン溶液及び汚染した区域の除染を行う。</p> <p>(4) 除染後、再度放射能測定を行い、汚染の除去を確認し、試料採取作業を再開する。</p>								
<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)								
<b>対応区分</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">                 国際評価尺度 (INES) のレベル                  0以下 1 2 3 4 5 6 7                  (レベル2以下は工場外への影響はない)             </td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">                 放射能物質の外部放出                  工場外への影響             </td> </tr> <tr> <td>(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 0以下 1 2 3 4 5 6 7 (レベル2以下は工場外への影響はない)	放射能物質の外部放出 工場外への影響	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止	日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> 放射能物質による汚染、被ばく等 工場内への影響 多重防護の劣化 運転時障害からの逃脱等
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 0以下 1 2 3 4 5 6 7 (レベル2以下は工場外への影響はない)	放射能物質の外部放出 工場外への影響							
(b) 運転システムを切り替えて復旧									
(c) 当該機器を停止して復旧									
(d) 当該設備を停止して復旧									
(e) 影響範囲の設備を停止									



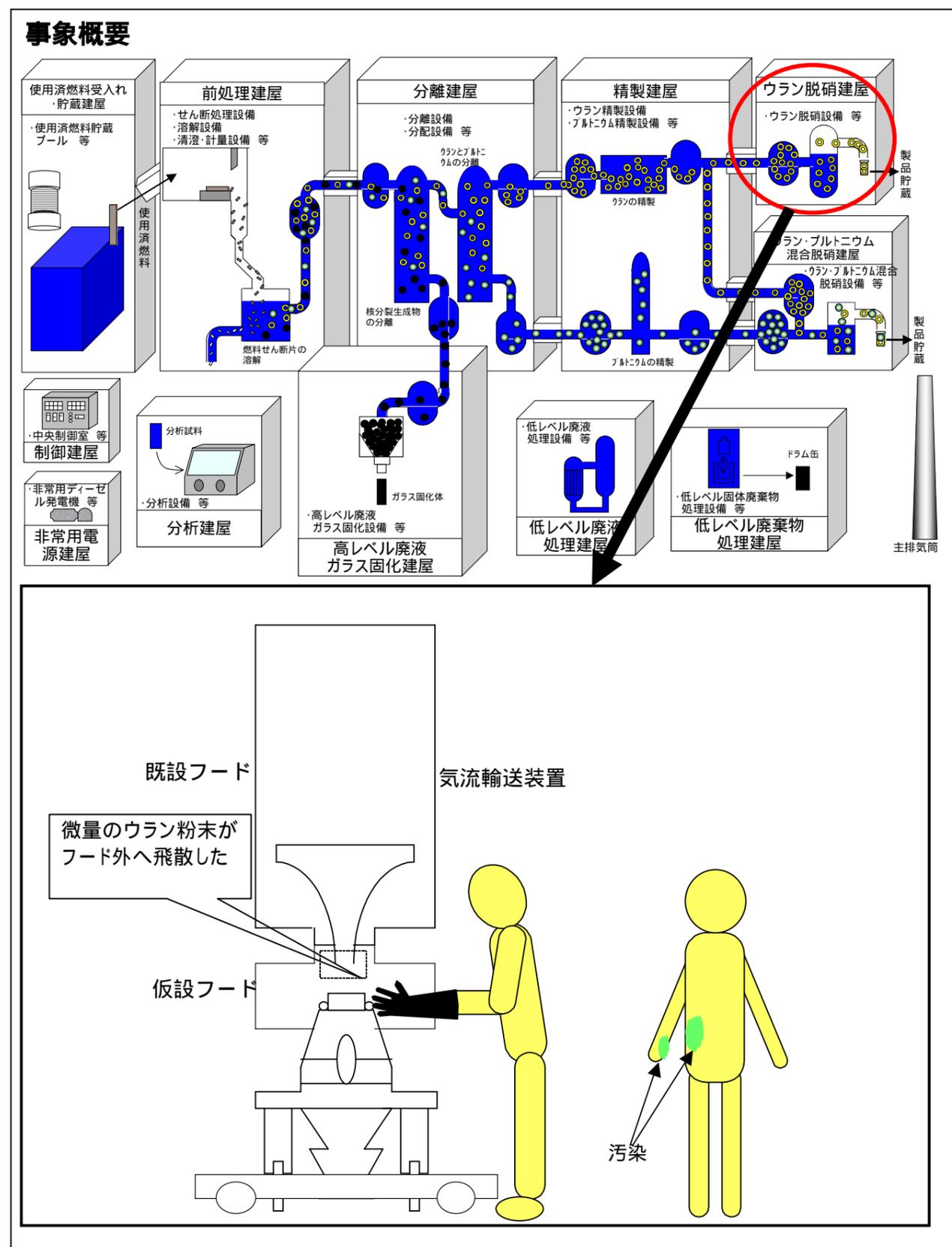
## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.6-5)

<b>件名</b>	自動充填装置のフード作業時における汚染	
<b>事象の概要</b>	(1) 発生場所: 機器 ウラン脱硝建屋: 自動充填装置 (2) 発生の状況 自動充填装置の運転中 (3) 概要 ウラン製品を貯蔵容器に自動充填する設備に設置されているフードを作業員が操作中、グローブを装置に引っ掛けグローブを破損させ、フード内のウラン粉末が作業員のゴム手袋に付着し汚染が発生(作業エリア内のサーベイメータ等で汚染を検出) * 他の建屋も含め同種の作業においても、同様な汚染の発生が予想される。	
<b>事象による影響</b>	(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> ウラン脱硝建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う交換作業であり、また、サーベイメータ等で汚染検出時には除染を行うので、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。 (2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 作業員のゴム手袋の汚染であるため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。 (3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 作業員については異常被ばくのないこと、身体汚染のないことを確認し、万一身体汚染等が認められた場合は、直ちに汚染を除去することによって作業員への安全を確保するため、作業員への影響は生じない。 (4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 汚染の起因となったグローブの交換を行うのに時間を要する場合は、当該機器の運転が影響を受けるが、他工程への影響は生じない。	
<b>対応の概要</b>	(1) 汚染の除去を行うとともに、ウランの体内への取り込みがないことを確認する。 (2) 作業員の移動経路等の汚染の有無を確認する。 (3) 汚染があれば、定められた手順に従い、汚染した区域の除染を行う。 (4) 当該グローブを交換する。 (5) フードとグローブの状態を確認し、定められた操作手順に従い運転を再開する。	
<b>公表区分</b>	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)	
<b>対応区分</b>	(a) 運転継続しながら復旧 (b) 運転システムを切り替えて復旧 (c) 当該機器を停止して復旧 (d) 当該設備を停止して復旧 (e) 影響範囲の設備を停止	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> 放射性物質による汚染、被ばく等 運転制御機能からの逸脱等 多重防護の劣化



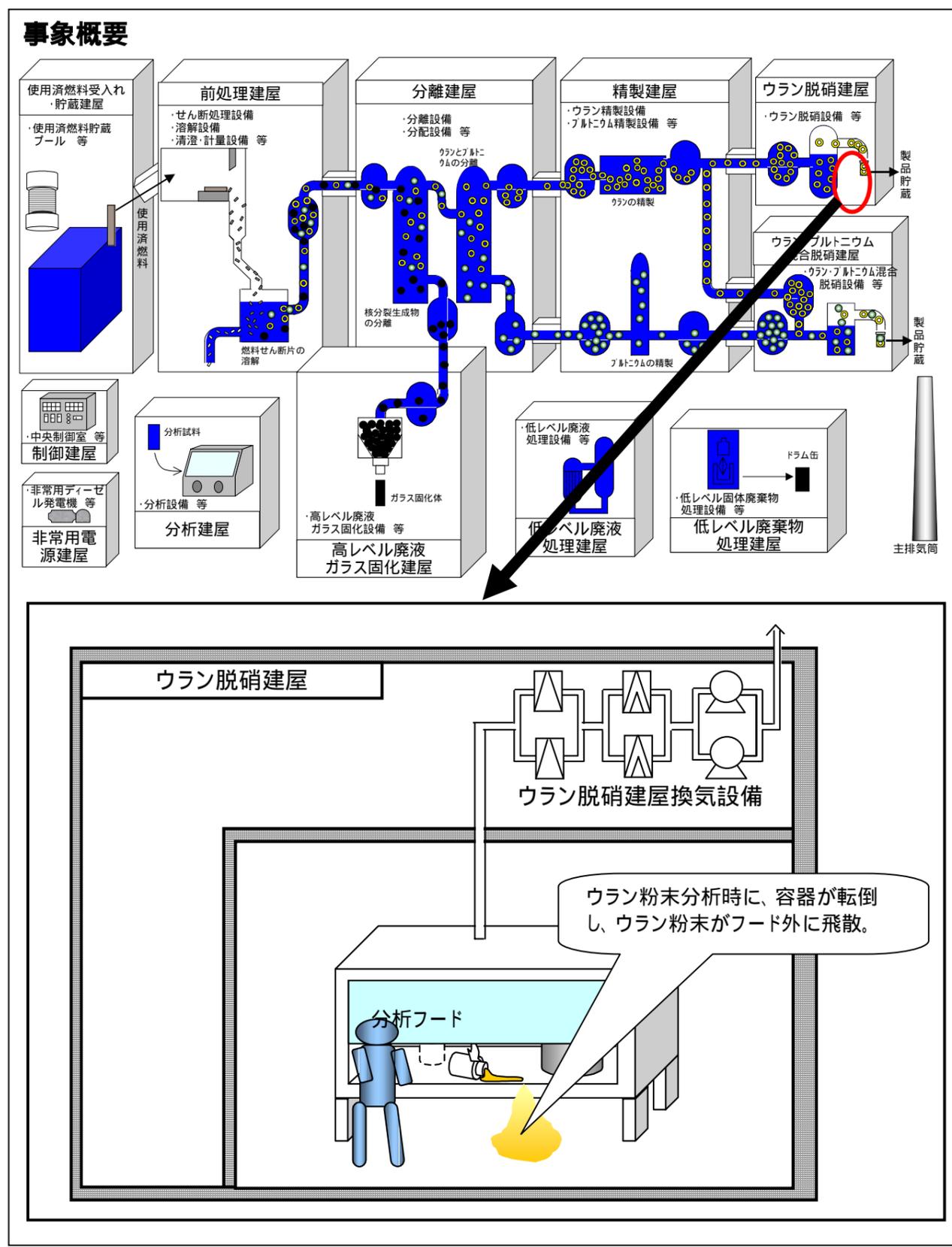
## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.6-6)

<b>件名</b>	仮設フードでのウラン粉末取り扱い作業時における汚染						
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 ウラン脱硝建屋: ウラン粉末気流輸送装置(仮設フード)</p> <p>(2) 発生の状況 ウラン試験中</p> <p>(3) 概要 劣化ウラン粉末の溶解作業時、ウラン粉末気流輸送装置にてウラン粉末を取り扱っていた際、フード内から微量の粉末が外部に飛散し、汚染が発生(作業エリア内のサーベイメータ等にて汚染を検出)</p> <p>* 他の建屋も含め同様の作業においても、同様な汚染の発生が予想される。</p>						
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> ウラン脱硝建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、また、サーベイメータ等で汚染検出時には除染を行うので、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> ゴム手袋・作業衣の汚染であるため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 作業員については異常被ばくのないこと、身体汚染のないことを確認し、万一身体汚染等が認められた場合は、直ちに汚染を除去することによって作業員への安全を確保するため、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 汚染の起因となった仮設フードの復旧を行うのに時間を要する場合は、当該作業が影響を受けるが、他工程への影響は生じない。</p>						
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 汚染の除去を行うとともに、ウランの体内への取り込みがないことを確認する。</p> <p>(2) 作業員の移動経路等の汚染の有無を確認する。</p> <p>(3) 汚染があれば、定められた手順に従い汚染した区域の除染を行う。</p> <p>(4) 仮設フードの取合部を養生する。</p> <p>(5) 仮設フードとグローブの健全性を確認し、定められた操作手順に従いウラン粉末気流輸送作業を再開する。</p>						
<b>公表区分</b>	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)						
<b>対応区分</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">                 国際評価尺度 (INES) のレベル                   (レベル2以下は工場外への影響はない)             </td> </tr> <tr> <td>(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table> <p>日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b></p> <p>放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響</p> <p>放射性物質の外部放出 工場外への影響</p> <p>運転制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化</p>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル (レベル2以下は工場外への影響はない)	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル (レベル2以下は工場外への影響はない)						
(b) 運転システムを切り替えて復旧							
(c) 当該機器を停止して復旧							
(d) 当該設備を停止して復旧							
(e) 影響範囲の設備を停止							



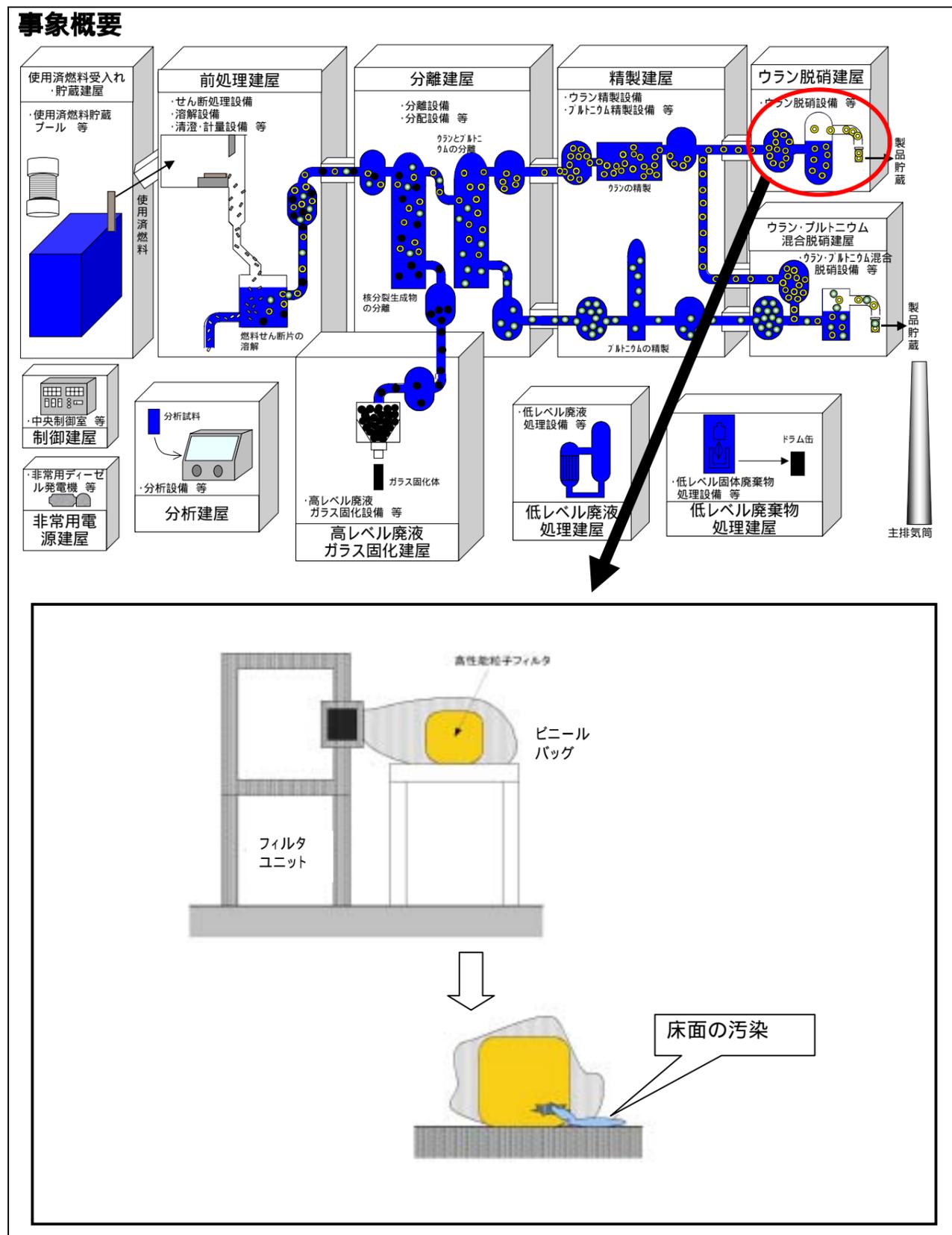
## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.6-7)

<b>件名</b>	分析フードでのウラン粉末取り扱い作業時における汚染									
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所・機器 ウラン脱硝建屋:分析フード</p> <p>(2) 発生の状況 分析作業中</p> <p>(3) 概要 分析フードにてウラン粉末を取り扱う際の試料採取ピンの転倒によるウラン粉末の飛散に伴う床汚染(作業エリア外のサーベイメータ等で汚染を検知)</p> <p>* 他の建屋も含め同種の作業においても、同様な汚染の発生が予想される。</p>									
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> ウラン脱硝建屋換気設備が稼働している室内での事象であり、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 作業区域内での汚染であるため、作業員がサーベイメータ等で放射線測定を行い、汚染を検知し、定められた手順で除染を行うため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 作業員については異常被ばくのないこと、身体汚染のないことを確認し、万一身体汚染等が認められた場合は、直ちに汚染を除去することによって作業員への安全を確保するため、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 汚染の除去を行うのに時間を要する場合は、当該作業が影響を受けるが、他の工程への影響は生じない。</p>									
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 作業員については、異常被ばく及び身体汚染のないことを確認する。</p> <p>(2) 汚染区域を設定し、人の立入りを制限する。</p> <p>(3) 作業計画を策定し、飛散したウラン粉末の回収及び汚染除去作業を行う。</p> <p>(4) 除染後、再度放射線測定を行い、汚染の除去を確認し、分析作業を再開する。</p>									
<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)									
<b>対応区分</b>	<p>(a) 運転継続しながら復旧</p> <p>(b) 運転システムを切り替えて復旧</p> <p>(c) 当該機器を停止して復旧</p> <p>(d) 当該設備を停止して復旧</p> <p>(e) 影響範囲の設備を停止</p>	<p>国際評価尺度 (INES) のレベル</p> <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 10%;">0以下</td> <td style="width: 10%;">1</td> <td style="width: 10%;">2</td> <td style="width: 10%;">3</td> <td style="width: 10%;">4</td> <td style="width: 10%;">5</td> <td style="width: 10%;">6</td> <td style="width: 10%;">7</td> </tr> </table> <p>(レベル2以下は工場外への影響はない)</p> <p>放射性物質の外部放出 → 工場外への影響</p> <p>日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b></p> <p>放射性物質による汚染、被ばく等 → 工場内への影響</p> <p>運転制御範囲からの遊離等 → 多重防護の劣化</p>	0以下	1	2	3	4	5	6	7
0以下	1	2	3	4	5	6	7			



## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.6-8)

<b>件名</b>	フード排気フィルタユニット保守作業時における汚染																
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器      ウラン脱硝建屋: フード排気フィルタユニット</p> <p>(2) 発生の状況      保守中</p> <p>(3) 概要                  フード排気フィルタユニットに収納される高性能粒子フィルタをビニールバッグに取り出す際、何らかの原因によりビニールバッグが破損し、フィルタに付着したウラン汚染物の一部によりフィルタユニット設置室内の床面が汚染(作業エリア外の汚染をサーベイメータ等で検知)                  * 他の建屋も含め同種の作業においても、同様な漏えいの発生が予想される。</p>																
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響      <b>工場外への影響は生じない。</b>                  ウラン脱硝建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、また、サーベイメータ等で汚染検出時には除染を行うので、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響      <b>安全上の問題は生じない。</b>                  作業区域内での汚染であり、サーベイメータ等で放射線測定を行い、汚染を検知し、定められた手順で除染を行うため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響      <b>作業員への影響は生じない。</b>                  作業員については異常被ばくのないこと、身体汚染のないことを確認し、万一身体汚染等が認められた場合は、直ちに汚染を除去することによって作業員への安全を確保するため、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響      <b>他工程への影響は生じない。</b>                  汚染の除去を行うのに時間を要する場合は、当該作業が影響を受けるが、他工程への影響は生じない。</p>																
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 汚染の除去を行うとともに、ウランの体内への取り込みがないことを確認する。</p> <p>(2) 定められた手順により区域の汚染除去を行う。</p> <p>(3) ビニールバッグを2重にすることにより、汚染拡大を防止する。</p> <p>(4) ビニールバッグ破損の原因を確認し、必要に応じ手順の改定又は十分な教育を行う。</p>																
<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)																
<b>対応区分</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; vertical-align: top;">                     (a) 運転継続しながら復旧                      (b) 運転システムを切り替えて復旧                      (c) 当該機器を停止して復旧                      (d) 当該設備を停止して復旧                      (e) 影響範囲の設備を停止                 </td> <td style="width: 80%; vertical-align: top;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">国際評価尺度 (INES)のレベル</td> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">0以下</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">7</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 45%; vertical-align: top;">                     放射性物質の外部防出                      工場外への影響                 </td> </tr> <tr> <td>日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b></td> <td style="text-align: center;">                     放射性物質による汚染、被ばく等                      工場内への影響                 </td> <td style="vertical-align: top;">                     多重防護の劣化                      運転時降圧圏からの逸脱等                 </td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧 (b) 運転システムを切り替えて復旧 (c) 当該機器を停止して復旧 (d) 当該設備を停止して復旧 (e) 影響範囲の設備を停止	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">国際評価尺度 (INES)のレベル</td> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">0以下</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">7</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 45%; vertical-align: top;">                     放射性物質の外部防出                      工場外への影響                 </td> </tr> <tr> <td>日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b></td> <td style="text-align: center;">                     放射性物質による汚染、被ばく等                      工場内への影響                 </td> <td style="vertical-align: top;">                     多重防護の劣化                      運転時降圧圏からの逸脱等                 </td> </tr> </table>	国際評価尺度 (INES)のレベル	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">0以下</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">7</td> </tr> </table>	0以下	1	2	3	4	5	6	7	放射性物質の外部防出 工場外への影響	日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>	放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響	多重防護の劣化 運転時降圧圏からの逸脱等
(a) 運転継続しながら復旧 (b) 運転システムを切り替えて復旧 (c) 当該機器を停止して復旧 (d) 当該設備を停止して復旧 (e) 影響範囲の設備を停止	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">国際評価尺度 (INES)のレベル</td> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">0以下</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">7</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 45%; vertical-align: top;">                     放射性物質の外部防出                      工場外への影響                 </td> </tr> <tr> <td>日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b></td> <td style="text-align: center;">                     放射性物質による汚染、被ばく等                      工場内への影響                 </td> <td style="vertical-align: top;">                     多重防護の劣化                      運転時降圧圏からの逸脱等                 </td> </tr> </table>	国際評価尺度 (INES)のレベル	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">0以下</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">7</td> </tr> </table>	0以下	1	2	3	4	5	6	7	放射性物質の外部防出 工場外への影響	日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>	放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響	多重防護の劣化 運転時降圧圏からの逸脱等		
国際評価尺度 (INES)のレベル	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">0以下</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">7</td> </tr> </table>	0以下	1	2	3	4	5	6	7	放射性物質の外部防出 工場外への影響							
0以下	1	2	3	4	5	6	7										
日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>	放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響	多重防護の劣化 運転時降圧圏からの逸脱等															



本事象は当該機器停止時の保守作業中に発生したものであるため対応区分該当なし。

## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.6-9)

<b>件名</b>	保守作業時における保守作業エリア外の汚染
<b>事象の概要</b>	(1) 発生場所: 機器 (2) 発生の状況 (3) 概要
<b>事象による影響</b>	(1) 工場外への影響 (2) 安全性への影響 (3) 作業員への影響 (4) 他工程への影響
<b>対応の概要</b>	(1) 汚染の除去を行うとともに、ウランの体内への取り込みがないことを確認する。 (2) 汚染区域を設定し、作業員の移動経路等の汚染の有無を確認する。 (3) 汚染があれば、定められた手順に従い、汚染した区域の除染を行う。 (4) 除染後、再度放射線測定を行い、汚染の除去を確認して、保守作業を再開する。

ウラン脱硝建屋：保守作業エリア周辺

保守中

作業員が靴底に保守作業エリアでの放射性物質が付着したことに気が付かず、保守作業エリア外に移動したため、汚染が拡大(作業エリア外の汚染をサーベイメータ等で検知)

\* 他の建屋も含め同種の作業においても、同様な汚染の発生が予想される。

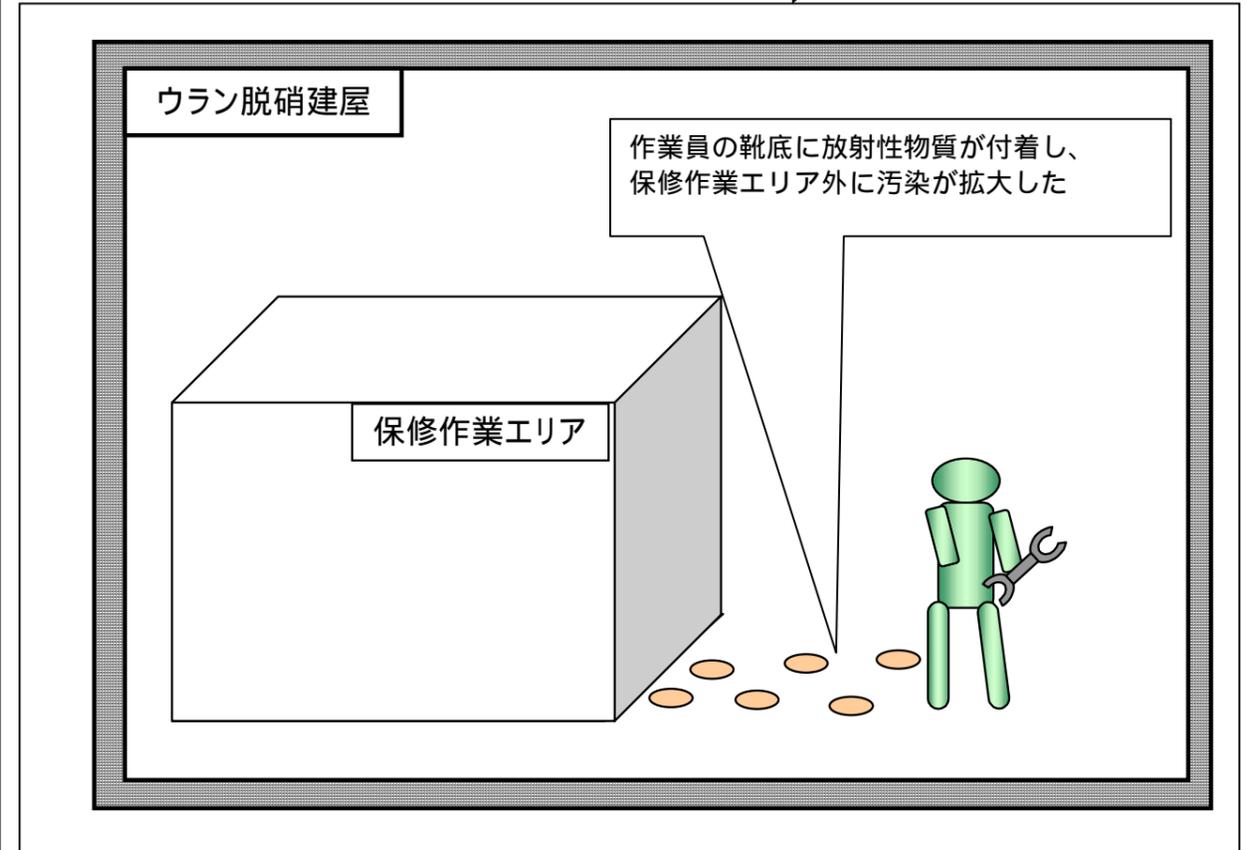
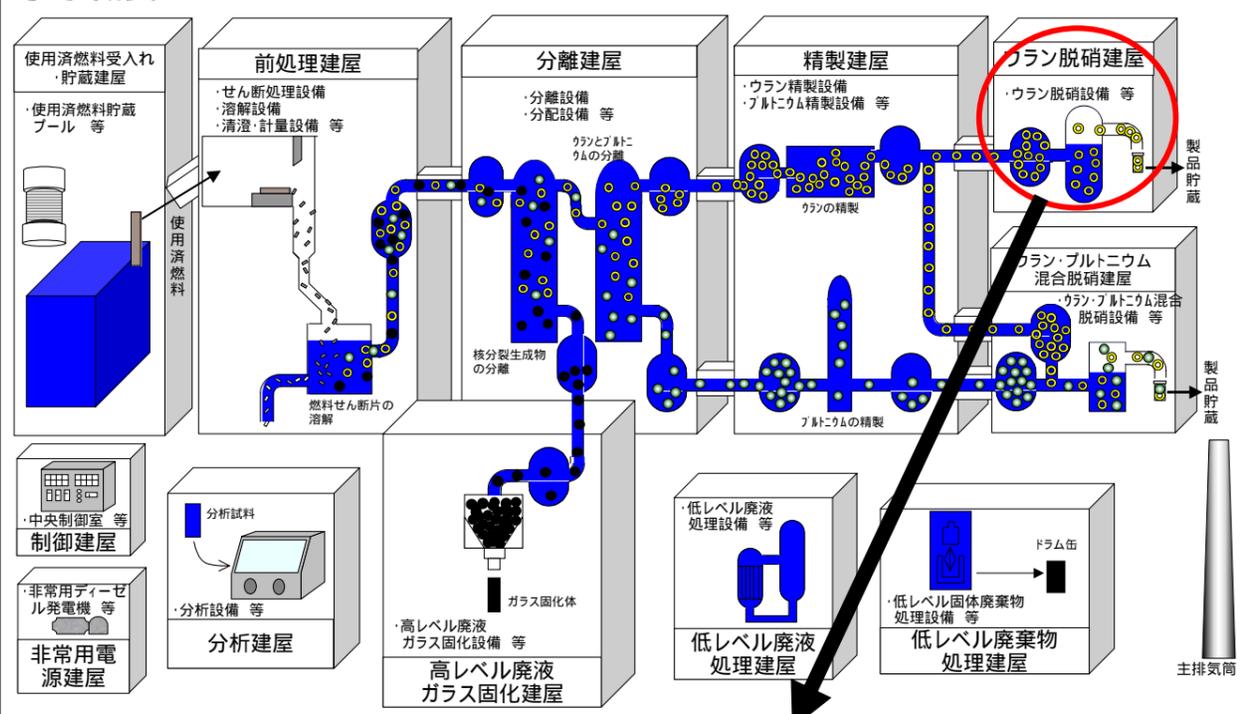
**工場外への影響**  
 工場外への影響は生じない。  
 ウラン脱硝建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う保守作業であり、また、サーベイメータ等で汚染検出時には除染を行うので、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。

**安全性への影響**  
 安全上の問題は生じない。  
 靴底及び管理区域内の汚染であり、作業員がサーベイメータ等で放射線測定を行い、汚染を検知し、定められた手順で除染を行うため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。

**作業員への影響**  
 作業員への影響は生じない。  
 当該作業員については異常被ばくのないこと、身体汚染のないことを確認し、万一身体汚染等が認められた場合は、直ちに汚染を除去することによって作業員への安全を確保するため、作業員への影響は生じない。

**他工程への影響**  
 他工程への影響は生じない。  
 汚染の除去を行うのに時間を要する場合は、当該作業が影響を受けるが、他工程への影響は生じない。

### 事象概要

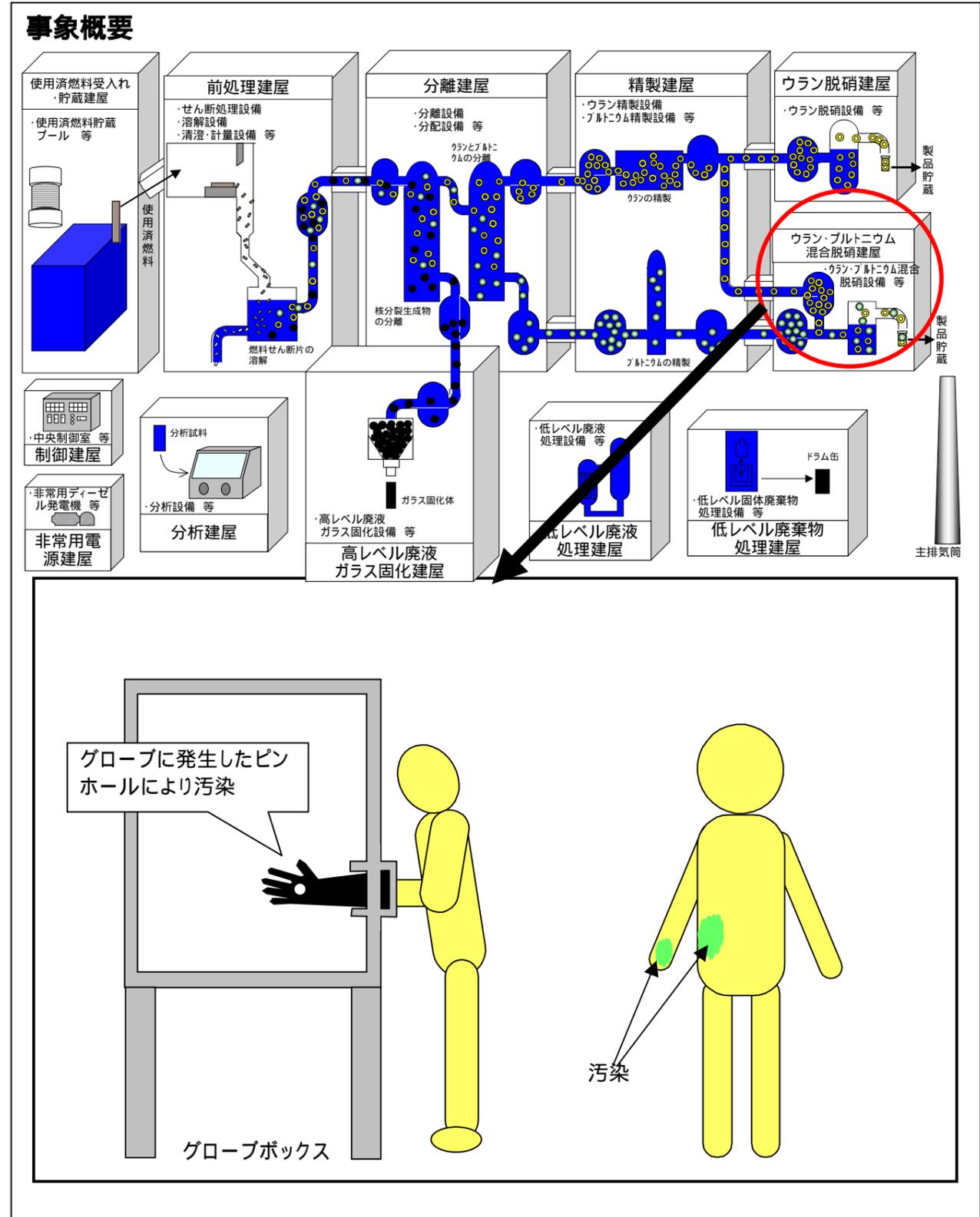


<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)	
<b>対応区分</b>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> (レベル2以下は工場外への影響はない) 放射性物質の外部放出 工場外への影響 放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響 運転制限・理由からの逸脱等 多重防護の劣化
	(b) 運転系統を切り替えて復旧	
	(c) 当該機器を停止して復旧	
	(d) 当該設備を停止して復旧	
	(e) 影響範囲の設備を停止	

本事象は当該機器停止時の保守作業中に発生したもので対応区分該当なし。

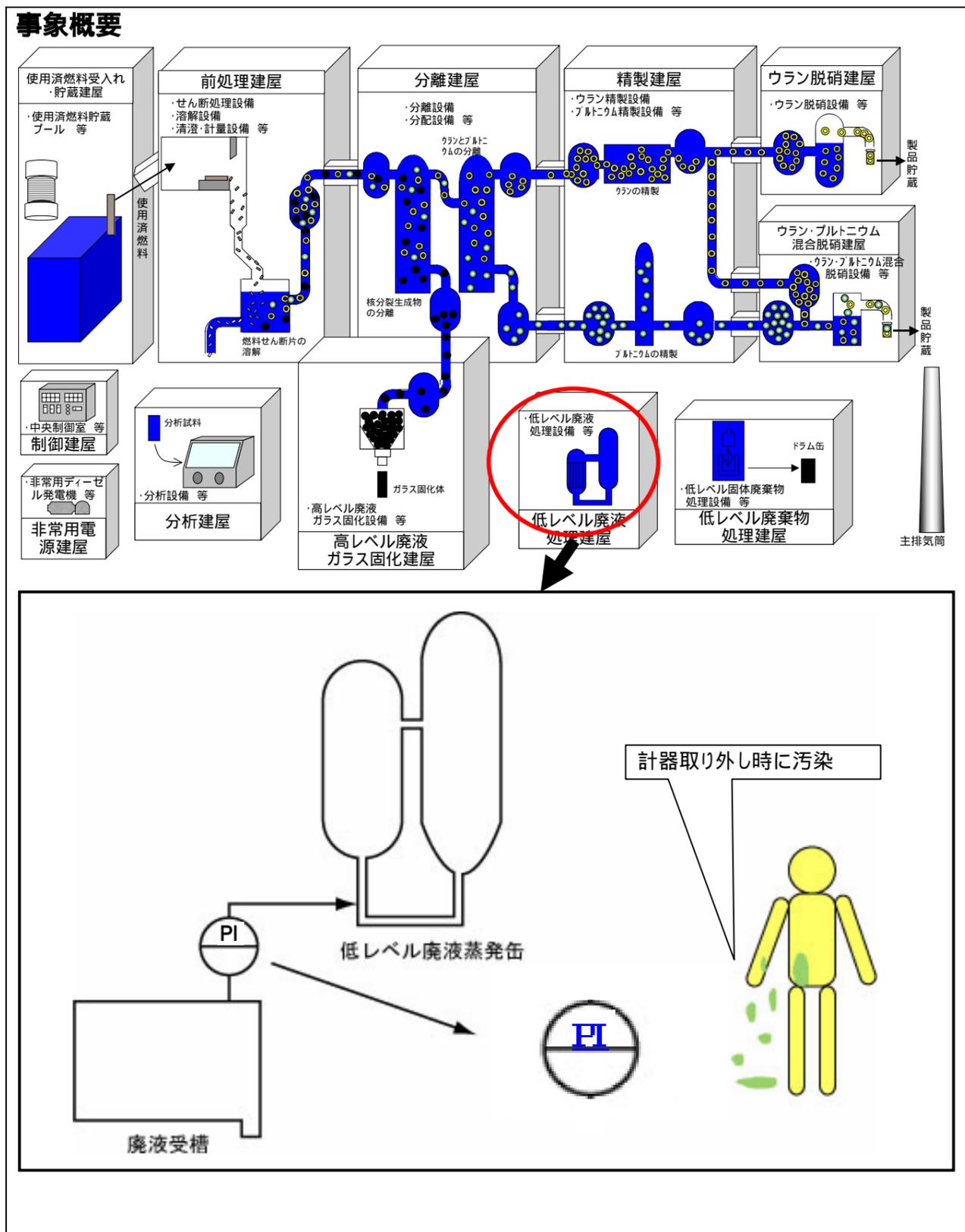
## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.6 - 10)

<b>件名</b>	グローブボックスでウラン粉末取り扱い作業時における汚染														
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋: グローブボックス</p> <p>(2) 発生の状況 グローブボックスでの作業中</p> <p>(3) 概要 グローブボックスでの作業中、グローブに発生したピンホールにより、作業員が装着していたゴム手袋及び作業衣の汚染が発生(作業エリア内のサーベイメータ等で汚染を検出)</p> <p>* 他の建屋も含め同種の作業においても、同様な汚染の発生が予想される。</p>														
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う交換作業であり、また、サーベイメータ等で汚染検出時には除染を行うので、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> ゴム手袋・作業衣の汚染であるため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 作業員については異常被ばくのないこと、身体汚染のないことを確認し、万一身体汚染等が認められた場合は、直ちに汚染を除去することによって作業員への安全を確保するため、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 汚染の起因となったグローブの交換を行うのに時間を要する場合は、当該機器の運転が影響を受けるが、他工程への影響は生じない。</p>														
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 汚染を除去するとともに、ウランの体内への取り込みがないことを確認する。</p> <p>(2) 作業員の移動経路等の汚染の有無を確認する。</p> <p>(3) 汚染があれば、定められた手順に従い、汚染した区域の除染を行う。</p> <p>(4) 当該グローブを交換する。</p> <p>(5) 当該グローブを交換後、グローブの健全性を確認して、グローブボックスでの作業を再開する。</p>														
<b>公表区分</b>	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)														
<b>対応区分</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td style="width: 10%;">(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> <td style="width: 10%;">(c) 当該機器を停止して復旧</td> <td style="width: 10%;">(d) 当該設備を停止して復旧</td> <td style="width: 10%;">(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止	<p>国際評価尺度 (INES) のレベル</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 10%;">0以下</td> <td style="width: 10%;">1</td> <td style="width: 10%;">2</td> <td style="width: 10%;">3</td> <td style="width: 10%;">4</td> <td style="width: 10%;">5</td> <td style="width: 10%;">6</td> <td style="width: 10%;">7</td> </tr> </table> <p>(レベル2以下は工場外への影響はない)      放射性物質の外部放出      工場外への影響</p> <p>日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>      放射性物質による汚染、被ばく等      工場内への影響</p> <p>運転時・保守時からの逸散等      多重防護の劣化</p>	0以下	1	2	3	4	5	6	7
(a) 運転継続しながら復旧	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止											
0以下	1	2	3	4	5	6	7								



## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.6-11)

<b>件名</b>	測定計器点検作業時における汚染						
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 低レベル廃液処理建屋: 圧力計廻り</p> <p>(2) 発生の状況 圧力計点検中</p> <p>(3) 概要 低レベル廃液蒸発缶への給液系の圧力計を点検のため取り外した時に、作業員の靴底、衣服及び身体表面の汚染が発生(作業エリア外のサーベイメータ等で汚染を検知)</p> <p>* 他の建屋も含め同種の作業においても、同様な汚染の発生が予想される。</p>						
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 低レベル廃液処理建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う点検作業であり、また、サーベイメータ等で汚染検出時には除染を行うので、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 作業員の汚染及び作業区域の汚染であり、サーベイメータ等で汚染を検知し、定められた手順で除染を行うため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 作業員については異常被ばくのないことを確認し、直ちに汚染を除去することによって作業員への安全を確保するため、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 汚染の除去を行うのに時間を要する場合は、当該作業が影響を受けるが、他工程への影響は生じない。</p>						
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 汚染の除去を行うとともに、ウランの体内への取り込みがないことを確認する。</p> <p>(2) 作業員の移動経路等の汚染の有無を確認する。</p> <p>(3) 汚染があれば、定められた手順に従い、汚染した区域の除染を行う。</p> <p>(4) 除染後、再度放射能測定を行い汚染の除去を確認して点検作業を再開する。</p>						
<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)						
<b>対応区分</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">                 国際評価尺度 (INES) のレベル                  日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>                  放射性物質による汚染、被ばく等                  多重防護の劣化                  運転時監視等からの遊離等             </td> </tr> <tr> <td>(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> 放射性物質による汚染、被ばく等 多重防護の劣化 運転時監視等からの遊離等	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> 放射性物質による汚染、被ばく等 多重防護の劣化 運転時監視等からの遊離等						
(b) 運転システムを切り替えて復旧							
(c) 当該機器を停止して復旧							
(d) 当該設備を停止して復旧							
(e) 影響範囲の設備を停止							

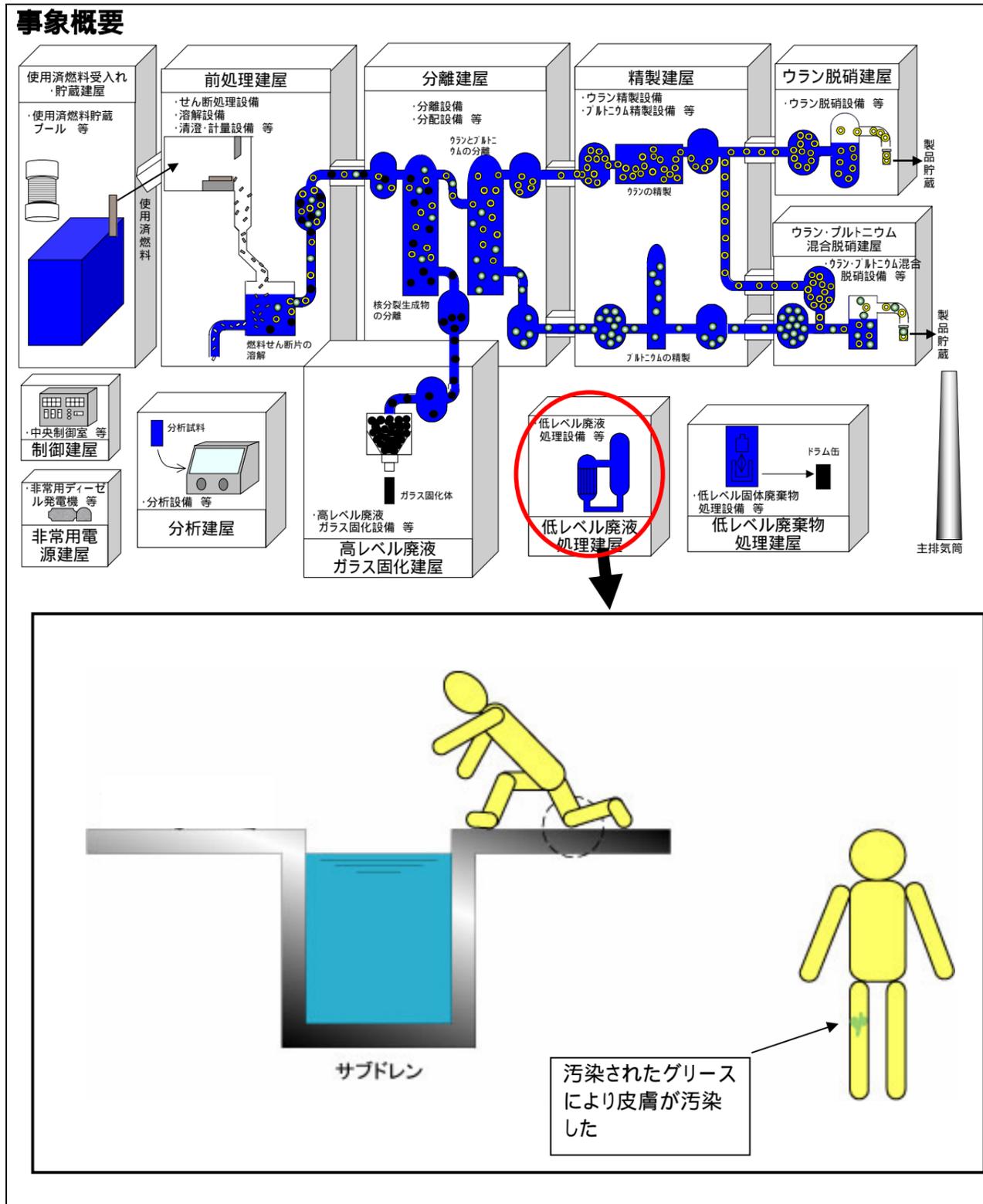


本事象は当該機器停止時の保守作業中に発生したものであるため対応区分該当なし。

## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.6-12)

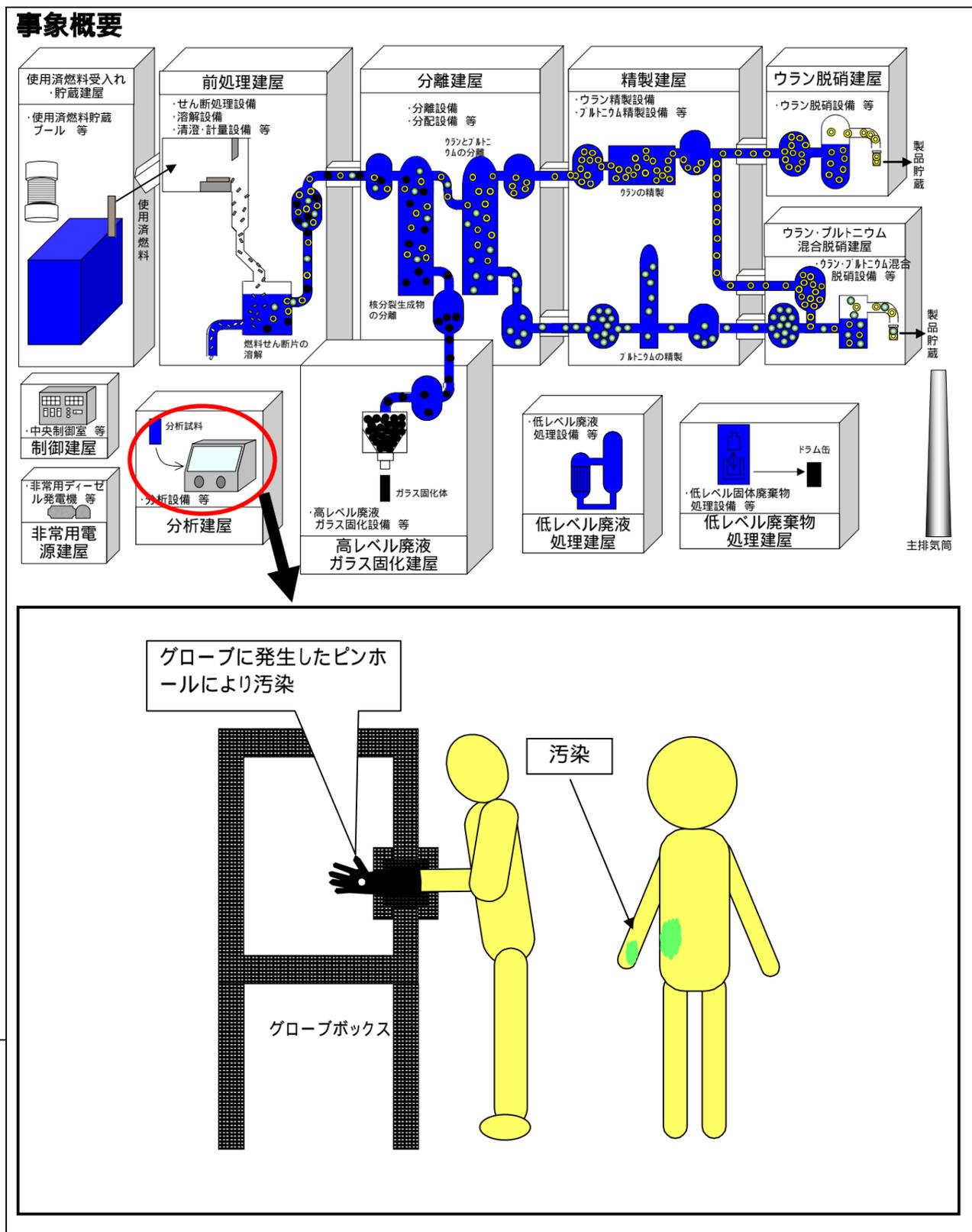
<b>件名</b>	サブドレンの保守作業時における皮膚の汚染						
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 低レベル廃液処理建屋: サブドレン(低レベル廃液処理設備)</p> <p>(2) 発生の状況 保守中</p> <p>(3) 概要 サブドレンの内部確認作業において、汚染したグリースが作業員の作業服に付着し、右ひざの皮膚が汚染(作業エリア外のサーベイメータ等で検知)</p> <p>* 他の建屋も含め同種の作業においても、同様な汚染の発生が予想される。</p>						
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 低レベル廃液処理建屋換気設備が稼働している室内での事象であり、また、サーベイメータ等で汚染検出時には除染を行うので、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 作業員の汚染であり、サーベイメータ等で汚染を検知し、定められた手順で除染を行うため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 作業員については異常被ばくがないこと、右ひざ以外に身体汚染がないことを確認し、万一身体汚染等が認められた場合は、直ちに汚染を除去することによって作業員への安全を確保するため、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 作業員の汚染であり、他作業への影響は生じない。</p>						
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 汚染の除去を行うとともに、ウランの体内への取り込みがないことを確認する。</p> <p>(2) 作業員の移動経路等の汚染の有無を確認する。</p> <p>(3) 汚染があれば、汚染した区域の除染を行う。</p> <p>(4) 除染後、再度放射能測定を行い、保守作業を再開する。</p>						
<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)						
<b>対応区分</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">                 国際評価尺度 (INES)のレベル                  日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>                  放射性物質の外部放出                  放射性物質による汚染、被ばく等                  運転制限範囲からの逸脱等                  多重防護の劣化             </td> </tr> <tr> <td>(b) 運転系統を切り替えて復旧</td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES)のレベル 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> 放射性物質の外部放出 放射性物質による汚染、被ばく等 運転制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化	(b) 運転系統を切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES)のレベル 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> 放射性物質の外部放出 放射性物質による汚染、被ばく等 運転制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化						
(b) 運転系統を切り替えて復旧							
(c) 当該機器を停止して復旧							
(d) 当該設備を停止して復旧							
(e) 影響範囲の設備を停止							

本事象は当該機器停止時の保守作業中に発生したものであるため対応区分該当なし。



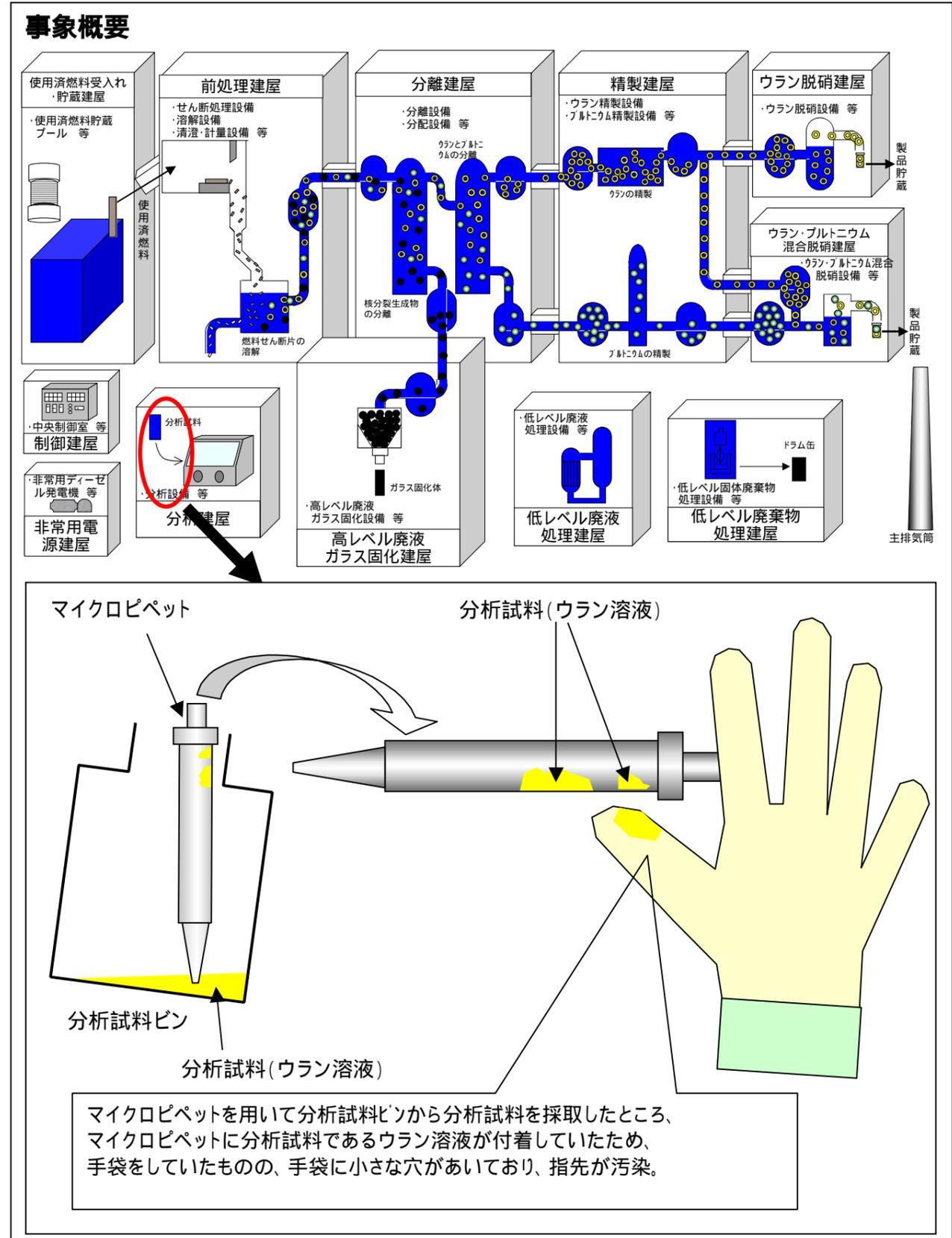
## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.6-13)

<b>件名</b>	グローブボックスでの分析作業時における汚染	
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 分析建屋: グローブボックス</p> <p>(2) 発生の状況 グローブボックスでの作業中</p> <p>(3) 概要 グローブボックスでの作業中、グローブに発生したピンホールにより、作業員が装着していたゴム手袋及び作業衣の汚染が発生(作業エリア内のサーベイメータ等で汚染を検出)</p> <p style="text-align: center;">* 他の建屋も含め同種の作業においても、同様な汚染の発生が予想される。</p>	
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 分析建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う交換作業であり、また、サーベイメータ等で汚染検出時には除染を行うので、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> ゴム手袋・作業衣の汚染であるため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 作業員については異常被ばくのないこと、身体汚染のないことを確認し、万一身体汚染等が認められた場合は、直ちに汚染を除去することによって作業員への安全を確保するため、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 汚染の起因となったグローブの交換を行うのに時間を要する場合は、当該作業が影響を受けるが、必要に応じ、他のグローブボックスを使用して作業を続行できることから、他工程への影響は生じない。</p>	
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 汚染の除去を行うとともに、ウランの体内への取り込みがないことを確認する。</p> <p>(2) 作業員の移動経路等の汚染の有無を確認する。</p> <p>(3) 汚染があれば、定められた手順に従い、汚染した区域の除染を行う。</p> <p>(4) 当該グローブを交換する。</p> <p>(5) 当該グローブを交換後、グローブの健全性を確認して、グローブボックスでの作業を再開する。</p>	
<b>公表区分</b>	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)	
<b>対応区分</b>	<p>(a) 運転継続しながら復旧</p> <p>(b) 運転システムを切り替えて復旧</p> <p>(c) 当該機器を停止して復旧</p> <p>(d) 当該設備を停止して復旧</p> <p>(e) 影響範囲の設備を停止</p>	<p>国際評価尺度 (INES) のレベル</p> <p style="text-align: center;">0以下 1 2 3 4 5 6 7</p> <p>(レベル2以下は工場外への影響はない) 放射性物質の外部放出 工場外への影響</p> <p>日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> 放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響</p> <p>運転時制限からの選別等 多重防護の劣化</p>



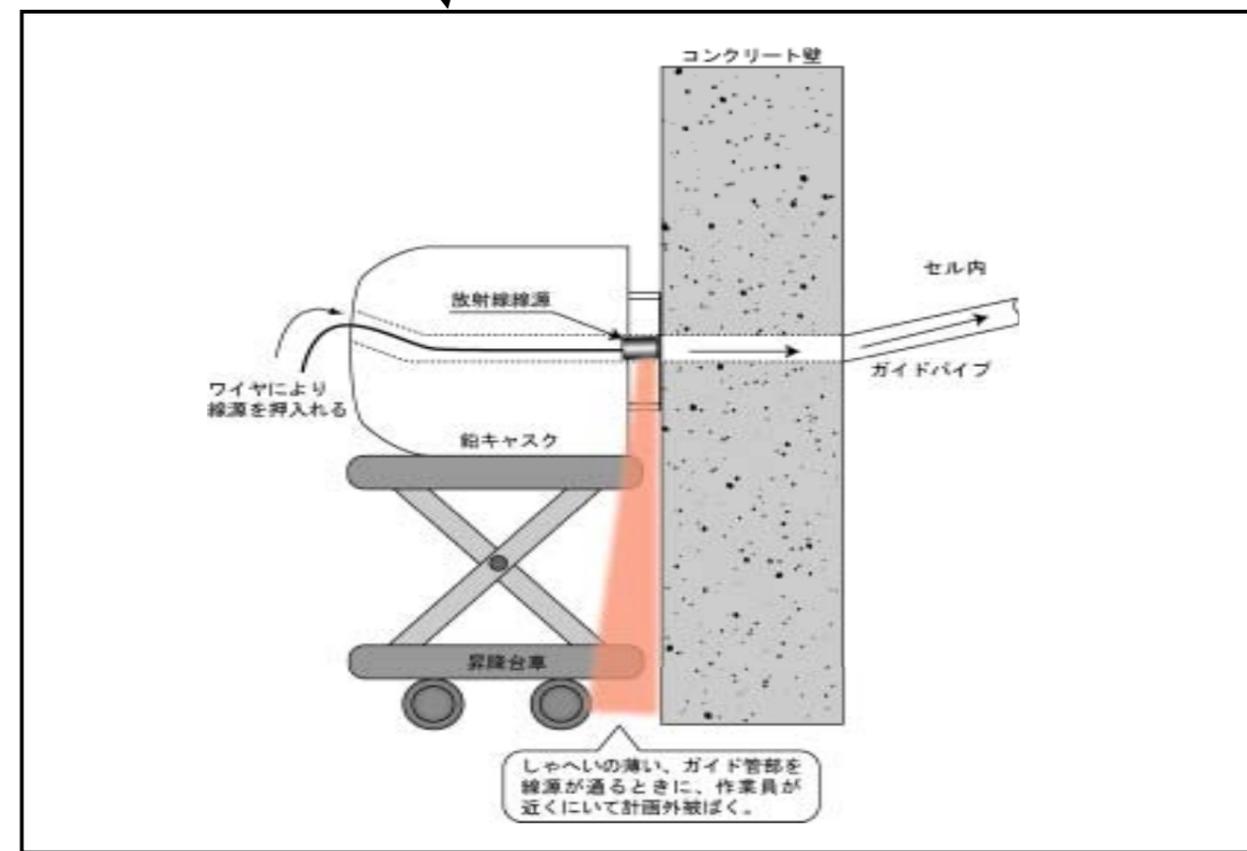
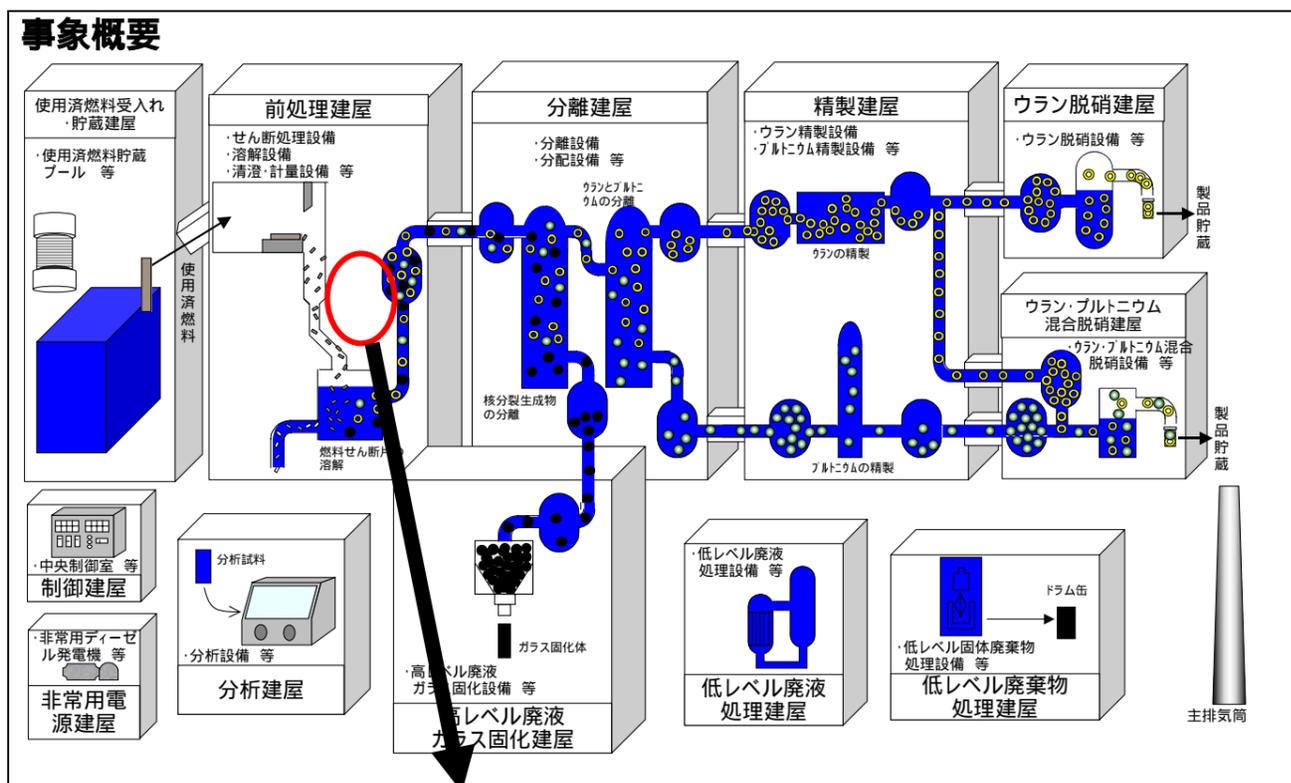
## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 6 - 14)

<b>件名</b>	マイクロピペットを用いた分析作業時における指先の汚染						
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 分析建屋: 分析フード</p> <p>(2) 発生の状況 ウラン試験中</p> <p>(3) 概要 マイクロピペット(分析試料を採取するための道具)を用いた分析試料ビンからの分析試料の採取時における、マイクロピペットに付着した分析対象のウラン溶液による指先の汚染(作業エリア外サーベイメータ等で汚染を検出)</p> <p style="text-align: center;">* 他の建屋も含め同種の作業においても、同様な汚染の発生が予想される。</p>						
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 分析建屋換気設備が稼働している室内での事象であり、また、サーベイメータ等で汚染検出時には除染を行うので、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 作業員の指先の汚染であるため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 作業員については異常被ばくがないこと、指先以外に身体汚染がないことを確認し、万一身体汚染等が認められた場合は、直ちに汚染を除去することによって作業員への安全を確保するため、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 作業員の汚染であり、他工程への影響は生じない。</p>						
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 汚染の除去を行い、ウランの指先以外の身体への付着及び体内への取り込みがないことを確認する。</p> <p>(2) 作業員の移動経路等の汚染の有無を確認する。</p> <p>(3) 汚染があれば、定められた手順に従い、汚染した区域の除染を行う。</p> <p>(4) 除染後、再度放射能測定を行い、汚染の除去を確認して、分析作業を再開する。</p>						
<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)						
<b>対応区分</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">                 国際評価尺度 (INES) のレベル  <div style="text-align: center;"> <span style="background-color: #cccccc; padding: 2px;">0以下</span>   1   2   3   4   5   6   7                 </div>                 (レベル2以下は工場外への影響はない)             </td> </tr> <tr> <td>(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">             放射能物質の外部放出 工場外への影響              放射能物質による汚染、被ばく等 工場内への影響              日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>              運転時降下物からの洗脱等 多重防護の劣化         </p>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル <div style="text-align: center;"> <span style="background-color: #cccccc; padding: 2px;">0以下</span>   1   2   3   4   5   6   7                 </div> (レベル2以下は工場外への影響はない)	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル <div style="text-align: center;"> <span style="background-color: #cccccc; padding: 2px;">0以下</span>   1   2   3   4   5   6   7                 </div> (レベル2以下は工場外への影響はない)						
(b) 運転システムを切り替えて復旧							
(c) 当該機器を停止して復旧							
(d) 当該設備を停止して復旧							
(e) 影響範囲の設備を停止							



## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 6 - 15)

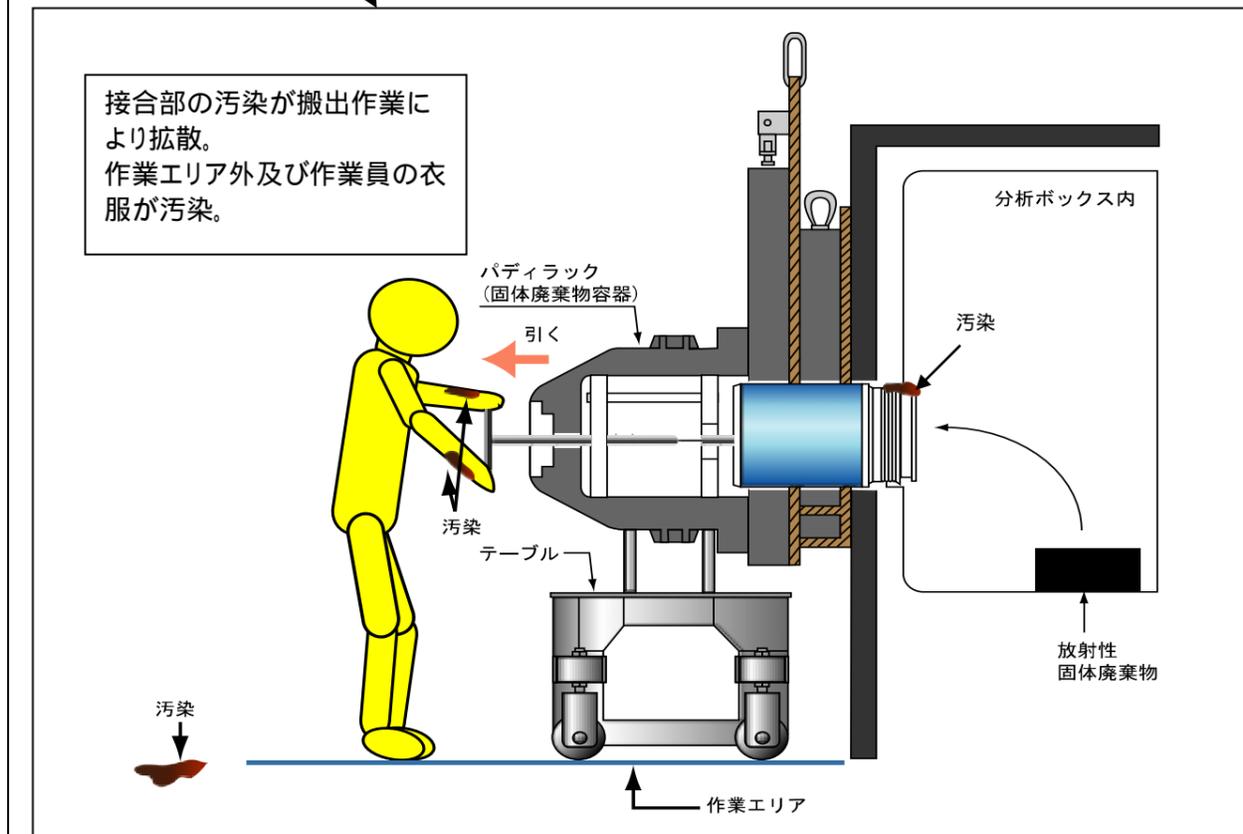
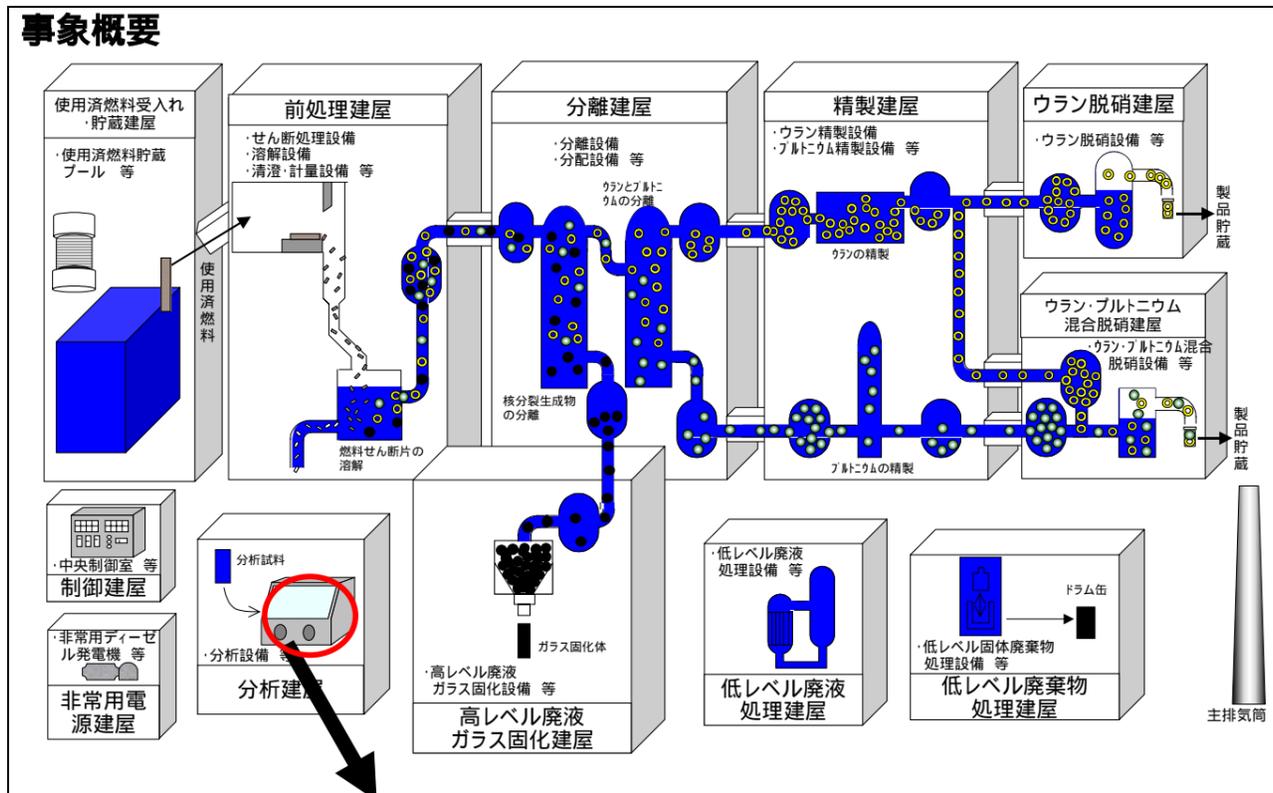
<b>件名</b>	(ガンマ)線モニタ校正用放射線線源取扱い作業時における作業計画外の被ばく
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 前処理建屋: (ガンマ)線モニタ</p> <p>(2) 発生の状況 設備点検中</p> <p>(3) 概要 放射線線源収納用鉛容器(キャスク)から(ガンマ)線モニタ点検のためガイドパイプに放射線線源(RI)を挿入(又は引抜き)する作業において、遮へいの薄いガイド管部を放射線線源が通過する際、ガイド管近くにいた作業員の警報付線量計が発報</p> <p>*他の建屋も含め同種の作業においても、同様な事象の発生が予想される。</p>
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 放射線線源は密封線源で、かつ、鉛容器(キャスク)に納められているため放射性物質の放出等工場外への影響はない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 作業員のごく軽度の被ばくであり、警報発報に伴い、直ちに作業を中断するため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 警報付線量計の警報設定レベルは法令許容値に対し十分低く設定されていることから、警報付線量計が発報しても直ちに身体への影響が生じるものではない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 機器単体への放射線線源取り付け作業のため、他工程との関連はない。</p>
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 被ばく線量が設定値を越え、警報付線量計が鳴る。</p> <p>(2) 作業員をその場から退避させる。</p> <p>(3) 警報付線量計で被ばく線量を確認し、作業員の被ばく線量を確認する。</p> <p>(4) 放射線作業計画の見直し後、作業を再開する。</p>



公表区分	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)									
対応区分	(a) 運転継続しながら復旧	<p>国際評価尺度 (INES)のレベル</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">0以下</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> </table> <p>(レベル2以下は工場外への影響はない)      放射性物質の外部放出      工場外への影響</p> <p>放射性物質による汚染、被ばく等      工場内への影響</p> <p>日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b></p> <p>運転制限範囲からの逸脱等      多重防護の劣化</p>	0以下	1	2	3	4	5	6	7
	0以下		1	2	3	4	5	6	7	
	(b) 運転系統を切り替えて復旧									
	(c) 当該機器を停止して復旧									
	(d) 当該設備を停止して復旧									
(e) 影響範囲の設備を停止										

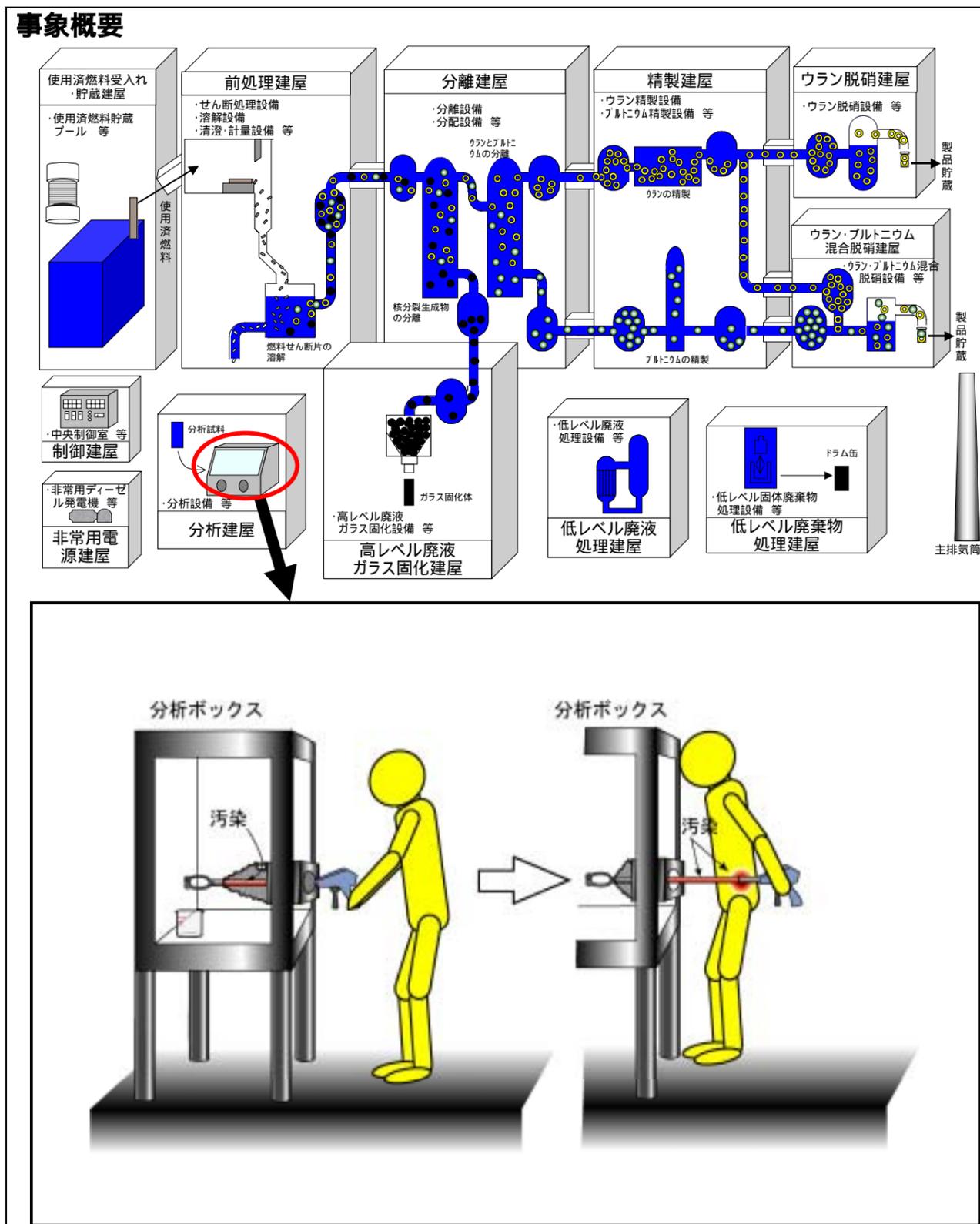
## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 6 - 16)

<b>件名</b>	分析ボックス内固体廃棄物搬出時における汚染	
<b>事象の概要</b> (1) 発生場所: 機器 (2) 発生の状況 (3) 概要	分析建屋: 分析設備  分析ボックスからの固体廃棄物搬出時  分析ボックスからパディラック(固体廃棄物容器)を用いて放射性固体廃棄物の搬出作業を実施していたところ、分析ボックスとパディラックの接合部の汚染が搬出作業により拡散し、作業エリア外及び作業員の衣服へ汚染が拡大  * 他の建屋も含め同種の作業においても同様の事象の発生が予想される。	
<b>事象による影響</b> (1) 工場外への影響 (2) 安全性への影響 (3) 作業員への影響 (4) 他工程への影響	<p><b>工場外への影響は生じない。</b> 分析建屋の建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う復旧作業なので、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。</p> <p><b>安全上の問題は生じない。</b> 作業区域内での汚染であるため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p><b>作業員への影響は生じない。</b> 作業員については異常被ばくのないこと、身体汚染のないことを確認し、万一身体汚染が認められた場合は、直ちに汚染を除去することによって作業員の安全を確保するため、作業員への影響は生じない。</p> <p><b>他工程への影響は生じない。</b> 汚染の除去を行うのに時間を要する場合は当該作業が影響を受けるが、他の工程への影響は生じない。</p>	
<b>対応の概要</b>	(1) 作業員については、異常被ばく及び身体汚染のないことを確認する。 (2) 定められた作業手順により汚染を除去する。 (3) 汚染除去後、定められた手順に従い分析ボックスからの廃棄物搬出を再開する。	
<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)	
<b>対応区分</b>	(a) 運転継続しながら復旧 (b) 運転系統を切り替えて復旧 (c) 当該機器を停止して復旧 (d) 当該設備を停止して復旧 (e) 影響範囲の設備を停止	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> 放射性物質の外部放出 (レベル2以下は工場外への影響はない) 放射性物質による汚染、被ばく等 (工場内への影響) 多重防護の劣化 (運転制限範囲からの逸脱等)



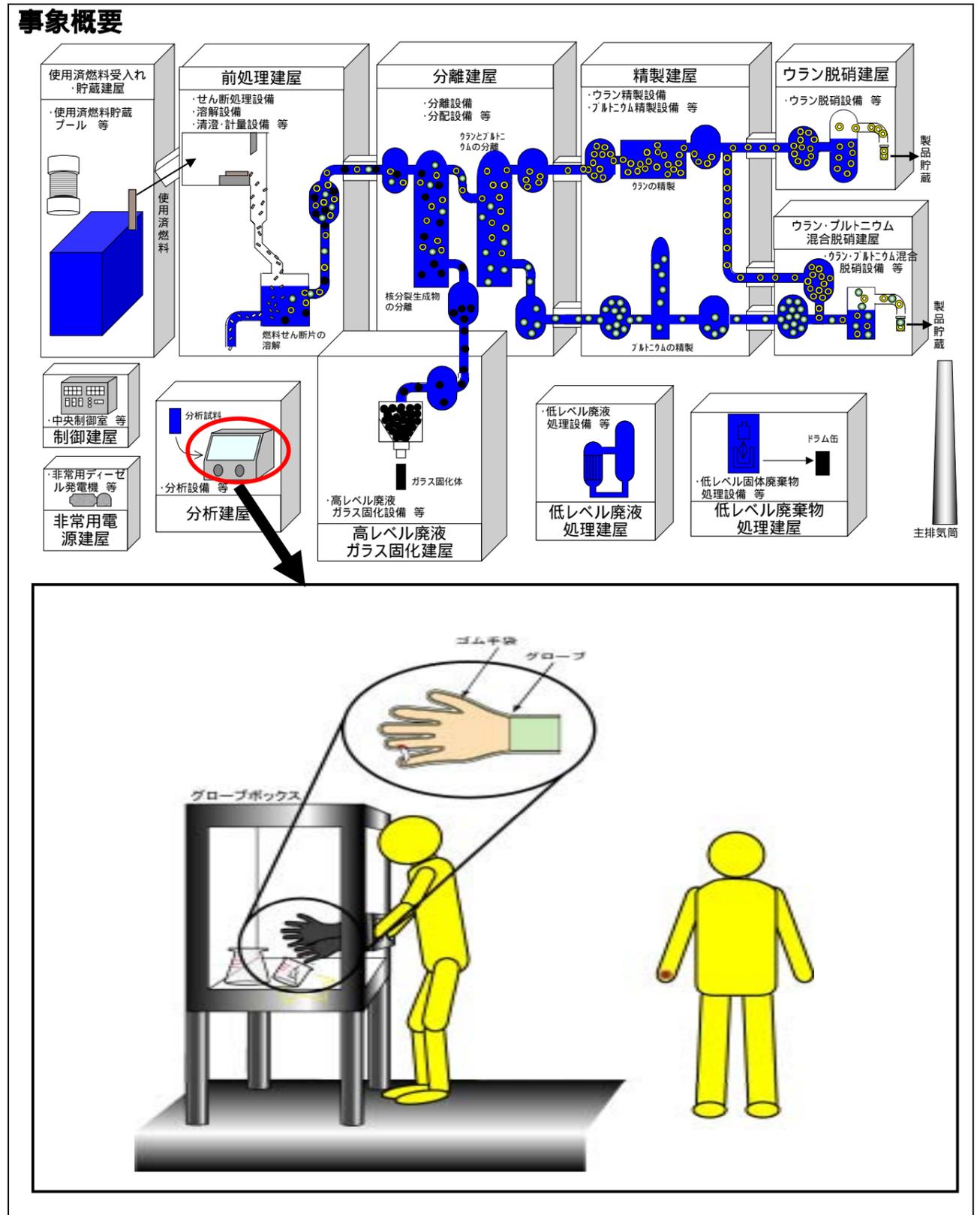
## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.6 - 17)

<b>件名</b>	分析用遠隔操作器具での分析作業時における汚染																																	
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器      分析建屋: 分析設備</p> <p>(2) 発生の状況      分析作業中</p> <p>(3) 概要 分析用遠隔操作器具を使用した分析作業中、分析用遠隔操作機器のシャフト部に汚染が発生し、その汚染した部分に作業員が装着していたゴム手袋、作業衣等が触れ汚染が発生(作業エリア内のサーベイメータ等にて汚染を発見)</p>																																	
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響      <b>工場外への影響は生じない。</b> 分析建屋の建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う復旧作業なので、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響      <b>安全上の問題は生じない。</b> ゴム手袋及び作業衣の汚染であるため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響      <b>作業員への影響は生じない。</b> 作業員については異常被ばくのないこと、身体汚染のないことを確認し、万一身体汚染等が認められた場合は、直ちに汚染を除去することによって作業員の安全を確保する。</p> <p>(4) 他工程への影響      <b>他工程への影響は生じない。</b> 必要に応じ他の分析ボックスで分析作業を続行できることから、他工程への影響は生じない。</p>																																	
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 汚染を除去するとともに、ウランの体内への取り込みがないことを確認する。</p> <p>(2) 作業員の移動経路等の汚染の有無を確認する。</p> <p>(3) 汚染があれば、定められた手順に従い、汚染した箇所の汚染の除去を行う。</p> <p>(4) 定められた手順に従い、汚染した分析用遠隔操作器具の汚染を除去、交換を行う。</p> <p>(5) 交換後、分析用遠隔操作器具を使用した分析作業を再開する。</p>																																	
公表区分	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)																																	
対応区分	(a) 運転継続しながら復旧	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 10%;">0以下</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border: none;">← (レベル2以下は工場外への影響はない) →</td> <td colspan="3" style="border: none;">放射性物質の外部放出</td> <td colspan="3" style="border: none;">工場外への影響</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border: none;">日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b></td> <td colspan="3" style="border: none;">放射性物質による汚染、被ばく等</td> <td colspan="3" style="border: none;">工場内への影響</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border: none;">運転時制限範囲からの逸脱等</td> <td colspan="3" style="border: none;">多重防護の劣化</td> <td colspan="3" style="border: none;"></td> </tr> </table>	0以下	1	2	3	4	5	6	7	← (レベル2以下は工場外への影響はない) →		放射性物質の外部放出			工場外への影響			日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>		放射性物質による汚染、被ばく等			工場内への影響			運転時制限範囲からの逸脱等		多重防護の劣化					
	0以下		1	2	3	4	5	6	7																									
	← (レベル2以下は工場外への影響はない) →		放射性物質の外部放出			工場外への影響																												
	日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>		放射性物質による汚染、被ばく等			工場内への影響																												
	運転時制限範囲からの逸脱等		多重防護の劣化																															
(b) 運転系統を切り替えて復旧																																		
(c) 当該機器を停止して復旧																																		
(d) 当該設備を停止して復旧																																		
(e) 影響範囲の設備を停止																																		



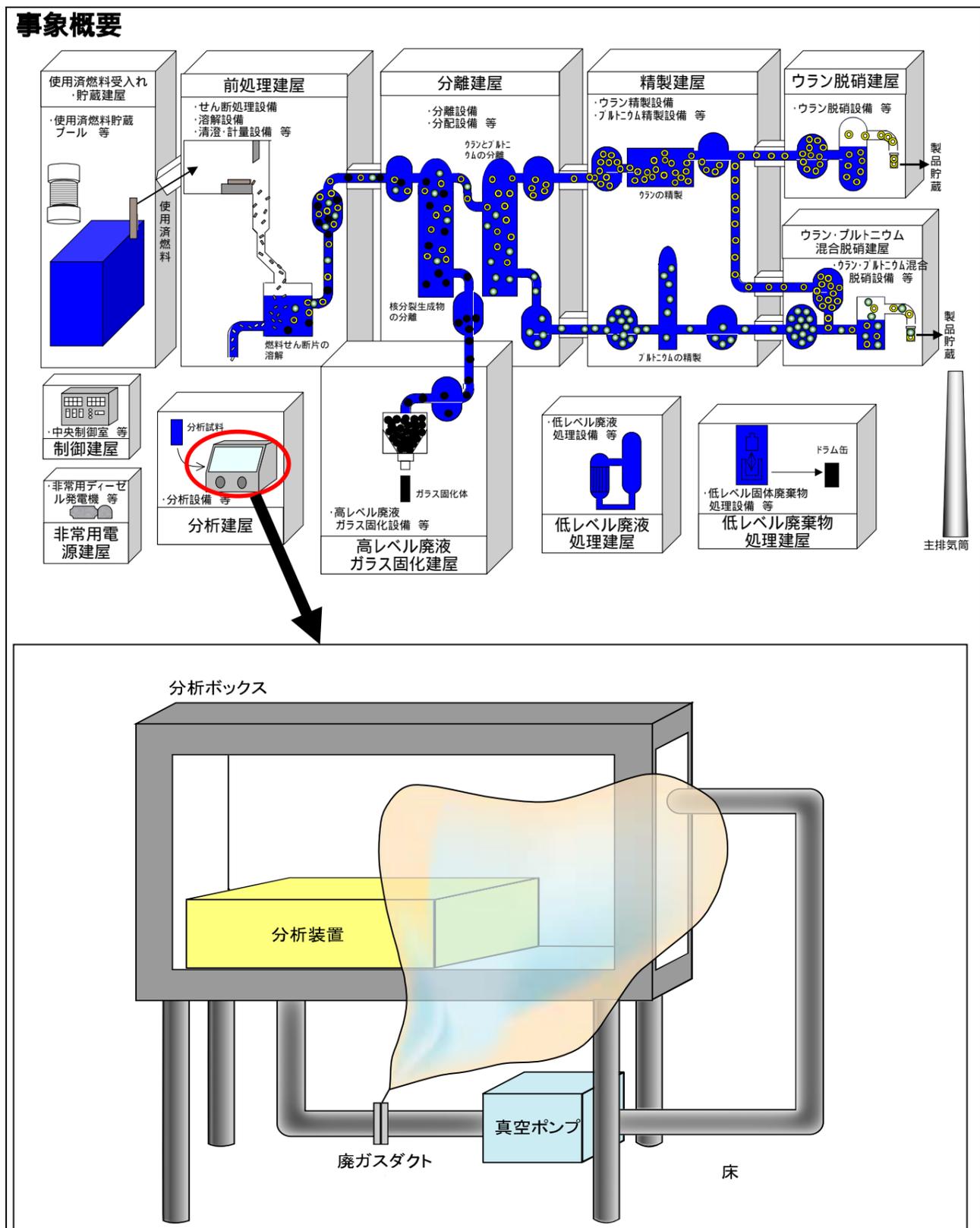
## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.6-18)

<b>件名</b>	分析操作中のガラス器具等による切傷及び汚染										
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器      分析建屋: 分析設備</p> <p>(2) 発生の状況      分析操作中</p> <p>(3) 概要      分析試料の分析操作中、ガラス器具等により作業員が手を切り、切創を伴う皮膚汚染が発生</p>										
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響      <b>工場外への影響は生じない。</b> 分析建屋の建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う復旧作業なので、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響      <b>安全上の問題は生じない。</b> 作業員の汚染であるため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響      <b>作業員への影響は生じない。</b> 定められた手順に従い、直ちに汚染除去を行う。必要があれば医療機関へ搬送することによって作業員の安全を確保する。</p> <p>(4) 他工程への影響      <b>他工程への影響は生じない。</b> 他の分析ボックス等で必要な分析が続行できることから、他工程への影響は生じない。</p>										
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 定められた手順に従って身体の汚染を除去するとともに、ウランの体内への取り込みがないことを確認する。</p> <p>(2) 必要に応じて医療機関へ搬送する。</p> <p>(3) 汚染した区域がある場合、定められた手順に従い汚染を除去する。</p> <p>(4) 汚染が除去されたことを確認して、分析操作を再開する。</p>										
<b>公表区分</b>	夜間・休祭日を問わず速やかに公表(プレス発表)										
<b>対応区分</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>(a) 運転継続しながら復旧</td> <td>0以下</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> </table> <p>国際評価尺度 (INES) のレベル</p> <p>(レベル2以下は工場外への影響はない)</p> <p>放射性物質の外部放出      工場外への影響</p>	(a) 運転継続しながら復旧	0以下	1	2	3	4	5	6	7	<p>日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b></p> <p>放射性物質による汚染、被ばく等      工場内への影響</p> <p>運転時障害からの逸脱等      多重防護の劣化</p>
(a) 運転継続しながら復旧	0以下	1	2	3	4	5	6	7			



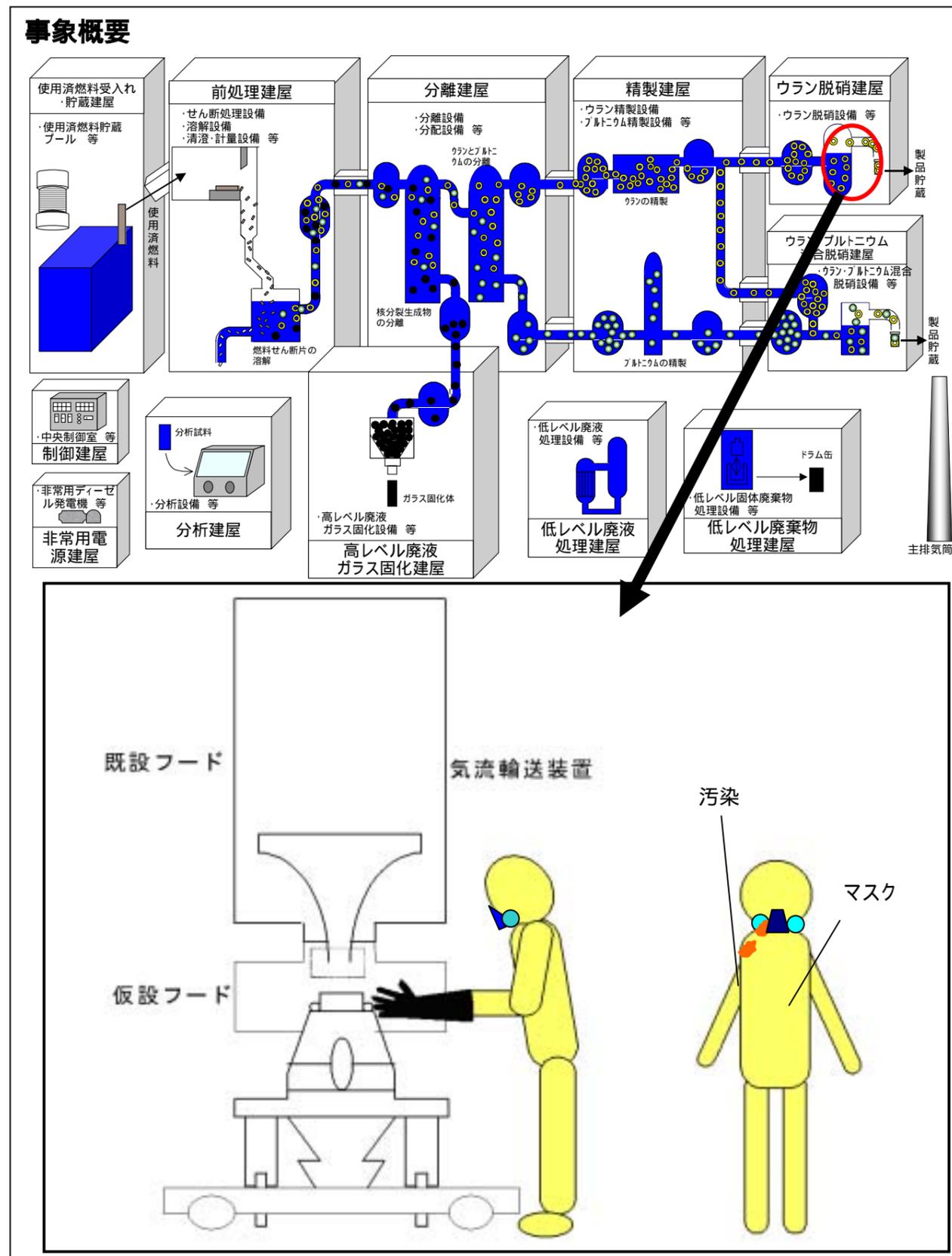
## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.6-19)

<b>件名</b>	分析装置からの放射性物質の漏えい						
<b>事象の概要</b>	分析建屋: 分析装置						
(1) 発生場所: 機器	分析装置による放射性物質の分析作業中						
(2) 発生の状況	分析装置による放射性物質の分析作業中						
(3) 概要	分析装置の廃ガスダクト継手部等からの放射性物質の漏えい * 他の建屋も含め同種の機器においても同様の事象の発生が予想される。						
<b>事象による影響</b>							
(1) 工場外への影響	<b>工場外への影響は生じない。</b> 分析建屋の建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う復旧作業なので、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。						
(2) 安全性への影響	<b>安全上の問題は生じない。</b> 分析建屋の建屋換気設備が稼働している室内での漏えいであり、除染・復旧作業を定められた手順に従い実施することで、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。						
(3) 作業員への影響	<b>作業員への影響は生じない。</b> 作業員については異常被ばくのないこと、身体汚染のないことを確認し、万一身体汚染等が認められた場合は、直ちに汚染を除去することによって作業員の安全を確保する。 また、分析装置の保守作業に当たっては、定められた放射線管理要領に従い、作業計画に沿って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。						
(4) 他工程への影響	<b>他工程への影響は生じない。</b> 必要に応じ、他室の分析装置を使用して作業を続行できることから、他工程への影響は生じない。						
<b>対応の概要</b>	(1) 分析装置の廃ガスダクト継手部等の漏えい箇所の確認。 (2) 定められた作業計画(安全管理・放射線管理を考慮した保守手順書)に従って保守する。 (3) 保守終了後、定められた手順に従い分析作業を再開する。						
<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)						
<b>対応区分</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">                 国際評価尺度 (INES) のレベル                  0以下 1 2 3 4 5 6 7                  (レベル2以下は工場外への影響はない)             </td> </tr> <tr> <td>(b) 運転系統を切り替えて復旧</td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table> <p>日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b></p> <p>放射性物質の外部放出 → 工場外への影響</p> <p>放射性物質による汚染、被ばく等 → 工場内への影響</p> <p>運転制限範囲からの逸脱等 → 多重防護の劣化</p>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 0以下 1 2 3 4 5 6 7 (レベル2以下は工場外への影響はない)	(b) 運転系統を切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 0以下 1 2 3 4 5 6 7 (レベル2以下は工場外への影響はない)						
(b) 運転系統を切り替えて復旧							
(c) 当該機器を停止して復旧							
(d) 当該設備を停止して復旧							
(e) 影響範囲の設備を停止							



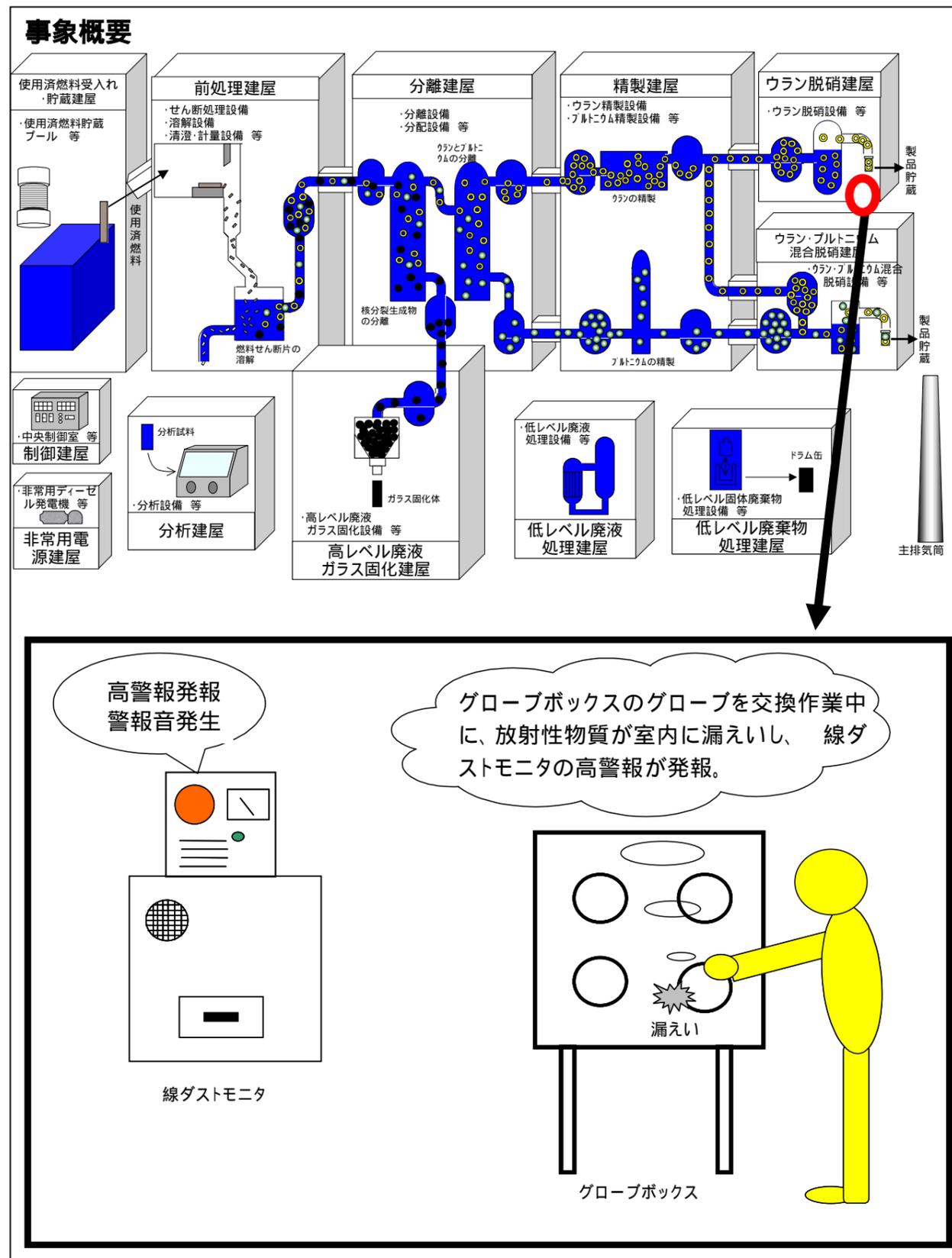
## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 6 - 20)

<b>件名</b>	仮設フードでのウラン粉末取扱い作業時における内部汚染							
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 ウラン脱硝建屋: ウラン粉末気流輸送装置 (仮設フード)</p> <p>(2) 発生の状況 ウラン試験中 (ウラン粉末気送中)</p> <p>(3) 概要 劣化ウラン粉末を気流輸送するため防護マスクを着用し、フード内でウラン粉末を取扱っていたが、汗が目に入りそうになり腕にて拭き取り、作業終了後身体サーベイしたところ肩口及びマスク表面に汚染を確認し、鼻スミヤを実施したところ、法令限度値未満であるものの (アルファ) 線の有意な汚染を確認</p>							
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> ウラン脱硝建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う復旧作業なので、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 作業員の汚染であるため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響がある。</b> 作業員の尿、糞を採取し、吸入量の評価及びそれに伴う被ばく量の評価を行う。また、必要に応じ医師が診察を行い作業員への影響を確認する。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 汚染の起因となった仮設フードの復旧を行うのに時間を要する場合は、当該作業が影響を受けるが、他工程への影響は生じない。</p>							
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 作業員の鼻腔洗浄を行い汚染が除去されたことを確認する。</p> <p>(2) 作業員の内部被ばく測定を行うとともに、尿、糞を採取し放射線量を測定する。</p> <p>(3) 作業員の移動経路等の汚染の有無、仮設フード周辺の汚染の有無を確認し、汚染があれば、定められた手順に従い汚染した区域の除染を行う。</p> <p>(4) 汚染除去後、定められた操作手順に従いウラン粉末気流輸送作業を再開する。</p>							
<b>公表区分</b>	夜間・休祭日を問わず速やかに公表 (プレス発表)							
<b>対応区分</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="width: 50%; text-align: center;">                 国際評価尺度 (INES) のレベル                  日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>                  放射性物質による汚染、被ばく等                  運転時監視範囲からの逸脱等                  多重防護の劣化             </td> </tr> <tr> <td>(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> 放射性物質による汚染、被ばく等 運転時監視範囲からの逸脱等 多重防護の劣化	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止	
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> 放射性物質による汚染、被ばく等 運転時監視範囲からの逸脱等 多重防護の劣化							
(b) 運転システムを切り替えて復旧								
(c) 当該機器を停止して復旧								
(d) 当該設備を停止して復旧								
(e) 影響範囲の設備を停止								



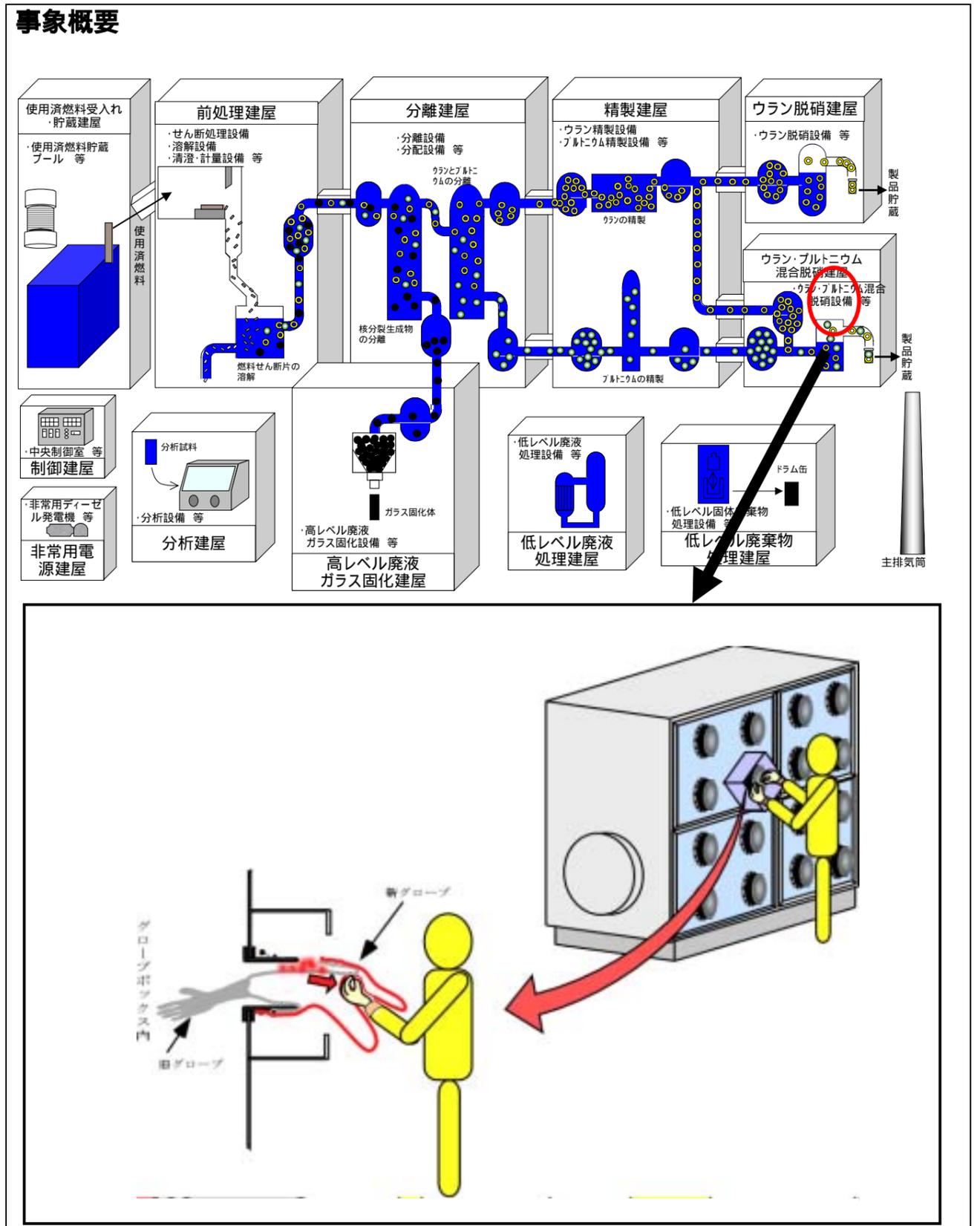
## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 6 - 21)

<b>件名</b>	グローブボックスのグローブ交換作業中における (アルファ)線ダストモニタの高警報発報																																						
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器      ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋: 線ダストモニタ</p> <p>(2) 発生の状況      グローブボックスのグローブ交換作業中</p> <p>(3) 概要      グローブボックスのグローブ交換作業中、放射性物質が室内に漏洩し、近傍の線ダストモニタの指示値が上昇し、高警報が発報</p> <p>* 他の建屋も含め同種の作業においても、同様な汚染の発生が予想される。</p>																																						
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響      <b>工場外への影響は生じない。</b> ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等工場外への影響は発生しない。</p> <p>(2) 安全性への影響      <b>安全上の問題は生じない。</b> 作業区域の汚染であり、グローブボックス内は負圧に保たれているため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響      <b>作業員への影響は発生しない。</b> 異常被ばくのないこと、身体汚染のないことを確認し、万一身体汚染等が認められた場合は、直ちに汚染を除去することによって作業員への安全を確保するため、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響      <b>他工程に影響が発生しない。</b> 汚染の除去が終わるまで、当該作業が影響を受けるが、他工程には影響は生じない。</p>																																						
<b>対応の概要</b>	<p>(1) グローブを正しい状態にセットする。</p> <p>(2) 作業員の汚染、被ばくがないことを確認する。</p> <p>(3) 定められた手順により区域の汚染除去を行う。</p> <p>(4) 除染後、汚染の除去を確認する。</p>																																						
<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)																																						
<b>対応区分</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; vertical-align: top;">                 (a) 運転継続しながら復旧                  (b) 運転システムを切り替えて復旧                  (c) 当該機器を停止して復旧                  (d) 当該設備を停止して復旧                  (e) 影響範囲の設備を停止             </td> <td style="width: 20%; vertical-align: top;">                 国際評価尺度 (INES) のレベル                  日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> </td> <td style="width: 60%; text-align: center;"> <table style="margin: auto;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0以下</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">← (レベル2以下は工場外への影響はない)</td> <td colspan="6" style="text-align: center;">放射性物質の外部放出</td> <td style="text-align: right;">工場外への影響</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="4" style="text-align: center;">放射性物質による汚染、被ばく等</td> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: right;">工場内への影響</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="6" style="text-align: center;">運転制限範囲からの逸脱等</td> <td style="text-align: right;">多重防護の劣化</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧 (b) 運転システムを切り替えて復旧 (c) 当該機器を停止して復旧 (d) 当該設備を停止して復旧 (e) 影響範囲の設備を停止	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>	<table style="margin: auto;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0以下</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">← (レベル2以下は工場外への影響はない)</td> <td colspan="6" style="text-align: center;">放射性物質の外部放出</td> <td style="text-align: right;">工場外への影響</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="4" style="text-align: center;">放射性物質による汚染、被ばく等</td> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: right;">工場内への影響</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="6" style="text-align: center;">運転制限範囲からの逸脱等</td> <td style="text-align: right;">多重防護の劣化</td> </tr> </table>	0以下	1	2	3	4	5	6	7	← (レベル2以下は工場外への影響はない)		放射性物質の外部放出						工場外への影響			放射性物質による汚染、被ばく等						工場内への影響			運転制限範囲からの逸脱等						多重防護の劣化
(a) 運転継続しながら復旧 (b) 運転システムを切り替えて復旧 (c) 当該機器を停止して復旧 (d) 当該設備を停止して復旧 (e) 影響範囲の設備を停止	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>	<table style="margin: auto;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0以下</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">← (レベル2以下は工場外への影響はない)</td> <td colspan="6" style="text-align: center;">放射性物質の外部放出</td> <td style="text-align: right;">工場外への影響</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="4" style="text-align: center;">放射性物質による汚染、被ばく等</td> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: right;">工場内への影響</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="6" style="text-align: center;">運転制限範囲からの逸脱等</td> <td style="text-align: right;">多重防護の劣化</td> </tr> </table>	0以下	1	2	3	4	5	6	7	← (レベル2以下は工場外への影響はない)		放射性物質の外部放出						工場外への影響			放射性物質による汚染、被ばく等						工場内への影響			運転制限範囲からの逸脱等						多重防護の劣化		
0以下	1	2	3	4	5	6	7																																
← (レベル2以下は工場外への影響はない)		放射性物質の外部放出						工場外への影響																															
		放射性物質による汚染、被ばく等						工場内への影響																															
		運転制限範囲からの逸脱等						多重防護の劣化																															



## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.6-22)

<b>件名</b>	グローブ交換作業時における汚染											
<b>事象の概要</b> (1)発生場所:機器 (2)発生の状況 (3)概要	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋:脱硝工程グローブボックス  グローブボックスのグローブ交換作業中  グローブの交換作業を実施していたところ、新グローブの取り付けが不十分であったことから、旧グローブの取り外しの際、新グローブがずれ、汚染が発生(作業エリア内のサーベイメータ等で汚染を検出) *他の建屋も含め同種の作業においても、同様な事象の発生が予想される。											
<b>事象による影響</b> (1)工場外への影響 (2)安全性への影響 (3)作業員への影響 (4)他工程への影響	<b>工場外への影響は生じない。</b> ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋換気設備が稼動している部屋の事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射物質の放出等の工場外への影響は生じない。  <b>安全上の問題は生じない。</b> グローブボックス内は室内より負圧が深くなっていることから、これ以上汚染が増大することはない、安全上の問題は生じない。  <b>作業員への影響は生じない。</b> 当該作業員については、異常被ばくがないこと、身体汚染のないことを確認し、万一身体汚染等が認められた場合は、直ちに汚染を除去することによって作業員への安全を確保することにより、作業員への影響は生じない。  <b>他工程への影響は生じない。</b> 汚染の除去を行うのに時間を要する場合は、当該作業が影響を受けるが、他の工程への影響は生じない。											
<b>対応の概要</b>	(1) グローブを正しい状態にセットする。 (2) 汚染の除去を行うとともに、ウランの体内への取り込みがないことを確認する。 (3) 定められた手順により汚染除去を行う。 (4) 除染後、再度放射能測定を行い、作業を再開する。											
公表区分	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)											
対応区分	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">(a)運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="width: 30%; vertical-align: middle;">                     国際評価尺度 (INES)のレベル  <div style="text-align: center;"> <span style="background-color: #cccccc; padding: 2px;">0以下</span>   1   2   3   4   5   6   7                     </div>                     (レベル2以下は工場外への影響はない)                 </td> <td style="width: 40%; text-align: right;">放射物質の外部放出</td> </tr> <tr> <td>(b)運転系統を切り替えて復旧</td> <td style="text-align: right;">工場外への影響</td> </tr> <tr> <td>(c)当該機器を停止して復旧</td> <td style="text-align: right;">放射物質による汚染、被ばく等</td> </tr> <tr> <td>(d)当該設備を停止して復旧</td> <td style="text-align: right;">工場内への影響</td> </tr> <tr> <td>(e)影響範囲の設備を停止</td> <td style="text-align: right;">多重防護の劣化</td> </tr> </table> 日本原燃による評価: <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">レベル0以下</span> 運転制限範囲からの逸脱等	(a)運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES)のレベル <div style="text-align: center;"> <span style="background-color: #cccccc; padding: 2px;">0以下</span>   1   2   3   4   5   6   7                     </div> (レベル2以下は工場外への影響はない)	放射物質の外部放出	(b)運転系統を切り替えて復旧	工場外への影響	(c)当該機器を停止して復旧	放射物質による汚染、被ばく等	(d)当該設備を停止して復旧	工場内への影響	(e)影響範囲の設備を停止	多重防護の劣化
(a)運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES)のレベル <div style="text-align: center;"> <span style="background-color: #cccccc; padding: 2px;">0以下</span>   1   2   3   4   5   6   7                     </div> (レベル2以下は工場外への影響はない)	放射物質の外部放出										
(b)運転系統を切り替えて復旧		工場外への影響										
(c)当該機器を停止して復旧		放射物質による汚染、被ばく等										
(d)当該設備を停止して復旧		工場内への影響										
(e)影響範囲の設備を停止		多重防護の劣化										



## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 6 - 23)

<b>件名</b>	廃棄物移動時における (ベータ)線ダストモニタの高警報発報							
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 低レベル廃棄物処理建屋: (ベータ)線ダストモニタ</p> <p>(2) 発生の状況 (3) 概要 廃棄物移動中 廃棄物移動コンベアで廃棄物を移動中、廃棄物の袋が破れ、室内に放射性物質が漏れいし、近傍 (ベータ)線のダストモニタの指示値が上昇し高警報が発報</p> <p>* 他の建屋も含め同種の作業においても、同様な汚染の発生が予想される。</p>							
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 低レベル廃棄物処理建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 作業区域の汚染であるため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 作業員については異常被ばくのないこと、身体汚染のないことを確認し、万一身体汚染等が認められた場合は、直ちに汚染を除去することによって作業員への安全を確保するため、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 汚染の除去が終わるまで、当該作業が影響を受けるが、他工程には影響は生じない。</p>							
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 直ちに廃棄物の袋をオーバーパック(梱包)する。</p> <p>(2) 汚染の除去を行うとともに、ウランの体内への取り込みがないことを確認する。</p> <p>(3) 定められた手順により区域の汚染除去を行う。</p> <p>(4) 除染後、汚染の除去を確認する。</p>							
<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)							
<b>対応区分</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">                     国際評価尺度 (INES)のレベル                      日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>                      放射性物質による汚染、被ばく等                      運転制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化                 </td> </tr> <tr> <td>(b) 運転系統を切り替えて復旧</td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES)のレベル 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> 放射性物質による汚染、被ばく等 運転制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化	(b) 運転系統を切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止	
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES)のレベル 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> 放射性物質による汚染、被ばく等 運転制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化							
(b) 運転系統を切り替えて復旧								
(c) 当該機器を停止して復旧								
(d) 当該設備を停止して復旧								
(e) 影響範囲の設備を停止								

